



パフォーマンス オブジェクトと パフォーマンス カウンタ

この章では、Cisco CallManager に関連するオブジェクトとカウンタの概要を示します。この章は、次の内容で構成されています。

- [パフォーマンス オブジェクトとパフォーマンス カウンタの操作 \(P.6-2\)](#)
- [RTMT を使用したパフォーマンス モニタリング \(P.6-60\)](#)
- [カテゴリ タブ \(P.6-61\)](#)
- [サンプル レート \(P.6-61\)](#)
- [モニタするカウンタの追加 \(P.6-61\)](#)
- [カウンタのアラート通知 \(P.6-61\)](#)
- [カウンタの詳細表示 \(P.6-62\)](#)
- [カウンタのプロパティ \(P.6-62\)](#)
- [Perfmom ログの概要 \(P.6-63\)](#)
- [Cisco CallManager トラブルシューティング ガイド \(P.6-63\)](#)
- [参考情報 \(P.6-63\)](#)

パフォーマンス オブジェクトとパフォーマンス カウンタの操作

Cisco CallManager は、コール処理に関連したカウンタであるパフォーマンス カウンタ (PerfMon カウンタと呼ばれる) を直接更新します。カウンタには、登録済み電話機の数、アクティブ コールの数、利用可能な Conference Bridge リソースの数など、簡単で便利なカウンタが含まれています。

Cisco CallManager オブジェクトには、ほとんどのパフォーマンス カウンタが含まれており、これらのカウンタにはインスタンスが 1 つだけあります。他のオブジェクトに属するインスタンススペースのカウンタでは、インスタンスがゼロまたは複数の場合があります。たとえば、Cisco CallManager に 2 台の電話機が登録されている場合、Cisco phones オブジェクトに属するカウンタごとに 2 つのインスタンスが存在します。

個々のカウンタの説明を参照するには、以下のリストで青色のテキストをクリックして該当する項目に移動します。

- [Cisco Analog Access \(P.6-4\)](#)
- [Cisco Annunciator Device \(P.6-4\)](#)
- [Cisco CallManager \(P.6-5\)](#)
- [Cisco CallManager Attendant Console \(P.6-12\)](#)
- [Cisco CallManager System Performance \(P.6-14\)](#)
- [Cisco CTIManager \(P.6-16\)](#)
- [Cisco Dual-Mode Mobility \(P.6-17\)](#)
- [Cisco Extension Mobility \(P.6-18\)](#)
- [Cisco Gatekeeper \(P.6-19\)](#)
- [Cisco H.323 \(P.6-19\)](#)
- [Cisco Hunt Lists \(P.6-20\)](#)
- [Cisco HW Conference Bridge Device \(P.6-21\)](#)
- [Cisco IP Manager Assistant \(P.6-21\)](#)
- [Cisco Lines \(P.6-22\)](#)
- [Cisco Locations \(P.6-22\)](#)
- [Cisco Media Streaming Application \(P.6-23\)](#)
- [Cisco Messaging Interface \(P.6-26\)](#)
- [Cisco MGCP FXO Device \(P.6-27\)](#)
- [Cisco MGCP FXS Device \(P.6-27\)](#)
- [Cisco MGCP Gateways \(P.6-28\)](#)
- [Cisco MGCP PRI Device \(P.6-28\)](#)
- [Cisco MGCP T1 CAS Device \(P.6-29\)](#)
- [Cisco Music On Hold \(MOH\) Device \(P.6-30\)](#)
- [Cisco MTP Device \(P.6-31\)](#)
- [Cisco Phone \(P.6-31\)](#)
- [Cisco Presence Feature \(P.6-32\)](#)
- [Cisco QSIG Feature \(P.6-32\)](#)
- [Cisco SIP \(P.6-33\)](#)
- [Cisco SIP Stack \(P.6-33\)](#)
- [Cisco SW Conf Bridge Device \(P.6-40\)](#)
- [Cisco TFTP Server \(P.6-41\)](#)
- [Cisco Tomcat Connector \(P.6-44\)](#)

- Cisco Tomcat JVM (P.6-46)
- Cisco Tomcat Web Application (P.6-47)
- Cisco Transcode Device (P.6-48)
- Cisco Video Conference Bridge (P.6-49)
- Cisco WebDialer (P.6-50)
- Cisco WSM Connector (P.6-50)
- Database Change Notification Client (P.6-51)
- Database Change Notification Server (P.6-51)
- Database Change Notification Subscription (P.6-51)
- Database Layer Monitor (P.6-52)
- Database Local DSN (P.6-52)
- DB User Host Information Counters (P.6-52)
- Enterprise Replication DBSpace Monitors (P.6-52)
- Enterprise Replication Perfmon Counters (P.6-52)
- IP (P.6-53)
- Memory (P.6-54)
- Network Interface (P.6-55)
- Number of Replicates Created and State of Replication (P.6-56)
- Partition (P.6-56)
- Process (P.6-57)
- Processor (P.6-58)
- System (P.6-58)
- TCP (P.6-59)
- Thread (P.6-59)

**ヒント**

Cisco CallManager で利用できる最新のパフォーマンス モニタリング カウンタ、オブジェクト、およびカウンタの説明については、Real-Time Monitoring Tool のパフォーマンス モニタリング カウンタにアクセスしてください。RTMT では、『*CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド*』の「カウンタの説明の表示」にある説明に従ってカウンタの説明を表示できます。

Cisco Analog Access

Cisco Analog Access オブジェクトは、登録済み Cisco Analog Access ゲートウェイについての情報を提供します。表 6-1 に、Cisco Analog Access カウンタの情報を示します。

表 6-1 Cisco Analog Access

カウンタ	カウンタの説明
OutboundBusyAttempts	すべてのポートがビジーだったときに Cisco CallManager が Analog Access ゲートウェイを通過してコールを試みた回数の合計数を表します。
PortsActive	現在使用中の（アクティブな）ポート数を表します。ポート上でコールが進行中の場合、ポートはアクティブと見なされます。
PortsOutOfService	現在停止中のポートの数を表します。loop-start トランクおよび ground-start トランクに対してだけ適用されます。

Cisco Annunciator Device

Cisco Annunciator Device オブジェクトは、登録済み Cisco Annunciator デバイスについての情報を提供します。表 6-2 に、Cisco Annunciator カウンタの情報を示します。

表 6-2 Cisco Annunciator Device

カウンタ	カウンタの説明
OutOfResources	Cisco CallManager が Annunciator デバイスからの Annunciator リソースの割り当てを試行して、すべてのリソースがすでに使用中であるなどの理由で失敗した回数の合計数を表します。
ResourceActive	Annunciator デバイスに対して現在アクティブな（使用中の）Annunciator リソースの合計数を表します。
ResourceAvailable	非アクティブで、現在の時点では Annunciator デバイスでまだ使用可能なリソースの合計数を表します。
ResourceTotal	Annunciator デバイスに対して設定されている Annunciator リソースの合計数を表します。

Cisco CallManager

Cisco CallManager オブジェクトは、Cisco CallManager に登録されているコール、アプリケーション、およびデバイスについての情報を提供します。表 6-3 に、Cisco CallManager カウンタの情報を示します。

表 6-3 Cisco CallManager

カウンタ	カウンタの説明
AnnunciatorOutOfResources	使用可能な Annunciator リソースがなかった場合に、Cisco CallManager に登録されている Annunciator リソースから、Cisco CallManager が割り当てを試行した回数の合計数を表します。
AnnunciatorResourceActive	Cisco CallManager に登録されているすべての Annunciator デバイス上で使用中の Annunciator リソースの合計数を表します。
AnnunciatorResourceAvailable	非アクティブで、現在使用可能な Annunciator リソースの合計数を表します。
AnnunciatorResourceTotal	Cisco CallManager に現在登録されているすべての Annunciator デバイスから提供されている Annunciator リソースの合計数を表します。
AuthenticatedCallsActive	Cisco CallManager 上で現在アクティブな（使用中の）認証済みコール数を表します。認証済みコールとは、コールに関係するすべてのエンドポイントが認証されているコールです。認証済み電話機は、Transport Layer Security (TLS) 認証された Skinny プロトコル シグナリングを Cisco CallManager で使用します。
AuthenticatedCallsCompleted	Cisco CallManager 経由で接続し、その後接続解除された認証済みコール数を表します。認証済みコールとは、コールに関係するすべてのエンドポイントが認証されているコールです。認証済み電話機は、TLS 認証された Skinny プロトコル シグナリングを Cisco CallManager で使用します。
AuthenticatedPartiallyRegisteredPhone	部分的に登録済みの認証済み SIP 電話の数を表します。
AuthenticatedRegisteredPhones	Cisco CallManager に登録されている認証済み電話機の合計数を表します。認証済み電話機は、TLS 認証された Skinny プロトコル シグナリングを Cisco CallManager で使用します。
BRIChannelsActive	この Cisco CallManager 上で現在アクティブなコールの BRI 音声チャンネルの数を表します。
BRISpansInService	現在使用可能な BRI スパンの数を表します。
CallManagerHeartBeat	Cisco CallManager のハートビートを表します。この増分カウンタは、Cisco CallManager が稼働中であることを示します。カウンタが増分されない場合は、Cisco CallManager がダウンしていることを示します。
CallsActive	現在使用中の（アクティブな）音声ストリーミング接続またはビデオストリーミング接続の数、つまり、実際に Cisco CallManager に接続されている音声パスが実際に存在するコール数を表します。

表 6-3 Cisco CallManager (続き)

カウンタ	カウンタの説明
CallsAttempted	試行されたコールの合計数を表します。試行されたコールは、電話機がオフフックになるとき、およびオンフックに戻るときに常に発生します。どの番号がダイヤルされたか、宛先に接続されたかどうかには関係ありません。機能操作中（転送や会議など）にコールが試行されても、試行されたコールとみなされる場合があります。
CallsCompleted	Cisco CallManager を介して実際に接続された（音声パスまたはビデオストリームが確立された）コール数を表します。この数は、コールが終了したときに増加します。
CallsInProgress	Cisco CallManager 上で現在進行中の音声コールまたはビデオコールの数を表します。すべてのアクティブコールが含まれます。電話機がオフフックになると、この操作はオンフックに戻るまで進行中のコールを作成します。進行中のすべての音声コールまたはビデオコールが接続されたときに、CallsInProgress の数は CallsActive の数を表します。
EncryptedCallsActive	Cisco CallManager 上で現在アクティブな（使用中の）暗号化されたコール数を表します。暗号化されたコールとは、コールに関係するすべてのエンドポイントが暗号化されているコールです。
EncryptedCallsCompleted	Cisco CallManager 経由で接続した後で接続解除された暗号化されたコール数を表します。暗号化されたコールとは、コールに関係するすべてのエンドポイントが暗号化されているコールです。
EncryptedPartiallyRegisteredPhones	部分的に登録済みの暗号化された SIP 電話の数を表します。
EncryptedRegisteredPhones	Cisco CallManager に登録されている暗号化された電話機の合計数を表します。
FXOPortsActive	Cisco CallManager 上で現在使用中の（アクティブな）FXO ポートの数を表します。
FXOPortsInService	システムで現在使用可能な FXO ポートの数を表します。
FXSPortsActive	Cisco CallManager 上で現在使用中の（アクティブな）FXS ポートの数を表します。
FXSPortsInService	システムで現在使用可能な FXS ポートの数を表します。
HuntListsInService	Cisco CallManager で現在動作中のハントリストの数を表します。
HWConferenceActive	Cisco CallManager に現在登録されているすべてのハードウェア Conference Bridge デバイスから提供されているハードウェア会議リソースの合計数を表します。
HWConferenceCompleted	Cisco CallManager から割り当てられたハードウェア Conference Bridge（Cisco Catalyst 6000、Cisco Catalyst 4000、Cisco VG200、Cisco シリーズ 26xx、36xx などのハードウェアベースの会議デバイス）を使用して完了した会議の合計数を表します。つまり、Conference Bridge は割り当てられて、解放されています。会議は、最初のコールがブリッジに接続されたときにアクティブになります。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除されたときに完了します。

表 6-3 Cisco CallManager (続き)

カウンタ	カウンタの説明
HWConferenceOutOfResources	使用可能なハードウェア会議リソースがなかった場合に、Cisco CallManager に登録されているハードウェア会議リソースから、Cisco CallManager が割り当てを試行した回数の合計数を表します。
HWConferenceResourceActive	Cisco CallManager に登録されているすべてのハードウェア会議デバイス (Cisco Catalyst 6000、Catalyst 4000、Cisco VG200、Cisco シリーズ 26xx、36xx など) 上で使用中の会議リソースの合計数を表します。システムは、1 つまたは複数のコールがブリッジに接続されたときに、会議がアクティブであるとみなします。
HWConferenceResourceAvailable	Cisco CallManager から割り当てられたビデオ Conference Bridge を使用して完了したすべてのハードウェア会議デバイス (Cisco Catalyst 6000、Catalyst 4000、Cisco VG200、Cisco シリーズ 26xx、36xx など) に割り当て可能で未使用の会議リソースの合計数を表します。つまり、Conference Bridge は割り当てられて、解放されています。会議は、最初のコールがブリッジに接続されたときにアクティブになります。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除されたときに完了します。
HWConferenceResourceTotal	Cisco CallManager に登録されているすべてのハードウェア会議デバイス上のアクティブな会議の合計数を表します。
InitializationState	Cisco CallManager の現在の初期化の状態を表します。 Cisco CallManager には、初期化の状態を表す次の値があります。 1 (Database)、2 (Regions)、3 (Locations)、4 (Calling Search Space)、5 (Time Of Day)、6 (AAR Neighborhoods)、7 (Digit Analysis)、8 (Route Plan)、9 (Call Control)、10 (Supplementary Services)、11 (Directory)、12 (SDL Link)、13 (Device)、100 (Initialization Complete)。 このカウンタを使用しても、すべての状態が表示されるわけではありません。このカウンタはエラーの発生を示すのではなく、パフォーマンス モニタのリフレッシュ期間内に状態が初期化され完了したことを単に示します。
LocationOutOfResources	当該場所を経由したコールが帯域幅の不足のため失敗した回数の合計数を表します。
MOHMulticastResourceActive	Cisco CallManager に登録されているすべての MOH サーバで現在使用中の (アクティブな) マルチキャスト MOH リソースの合計数を表します。
MOHMulticastResourceAvailable	Cisco CallManager に登録されているすべての MOH サーバ上の使用されていないアクティブなマルチキャスト MOH 接続の合計数を表します。
MOHOutOfResources	Cisco CallManager に登録されているすべての MOH サーバ上で使用可能なすべてのリソースがすでにアクティブであった場合に、Media Resource Manager が MOH リソースの割り当てを試行した回数の合計数を表します。
MOHTotalMulticastResources	Cisco CallManager に現在登録されているすべての MOH サーバから提供されているマルチキャスト MOH リソースまたはマルチキャスト MOH 接続の合計数を表します。

表 6-3 Cisco CallManager (続き)

カウンタ	カウンタの説明
MOHTotalUnicastResources	Cisco CallManager に現在登録されているすべての MOH サーバから提供されているユニキャスト MOH リソースまたはユニキャスト MOH ストリームの合計数を表します。各 MOH ユニキャスト リソースは、1つのストリームを使用します。
MOHUnicastResourceActive	Cisco CallManager に登録されているすべての MOH サーバで現在使用中の (アクティブな) ユニキャスト MOH リソースの合計数を表します。各 MOH ユニキャスト リソースは、1つのストリームを使用します。
MOHUnicastResourceAvailable	Cisco CallManager に登録されているすべての MOH サーバで現在使用可能なユニキャスト MOH リソースの合計数を表します。各 MOH ユニキャスト リソースは、1つのストリームを使用します。
MTPOutOfResources	Cisco CallManager が Cisco CallManager に登録されている 1つの MTP デバイスから MTP リソースの割り当てを試行し失敗した回数の合計数を表します。これは、MTP として動作する使用可能なトランスコーダではなかったことも意味します。
MTPResourceActive	Cisco CallManager に登録されているすべての MTP デバイス上で現在使用中の (アクティブな) MTP リソースの合計数を表します。各 MTP リソースは、2つのストリームを使用します。使用中の MTP は、コールで使用するために割り当てられている 1つの MTP リソースを表します。
MTPResourceAvailable	Cisco CallManager に登録されているすべての MTP デバイス上に割り当てられていて使用可能な、現在は未使用の MTP リソースの合計数を表します。各 MTP リソースは、2つのストリームを使用します。使用中の MTP は、コールで使用するために割り当てられている 1つの MTP リソースを表します。
MTPResourceTotal	Cisco CallManager に現在登録されているすべての MTP デバイスから提供されているメディア終端点 (MTP) リソースの合計数を表します。
PartiallyRegisteredPhone	部分的に登録済みの SIP 電話の数を表します。
PRIChannelsActive	この Cisco CallManager でアクティブなコールの PRI 音声チャネルの数を表します。
PRISpansInService	現在使用可能な PRI スパンの数を表します。
RegisteredAnalogAccess	システムに登録されている、登録済み Cisco Analog Access ゲートウェイの数を表します。カウントには、Cisco Analog Access ポートの数は含まれません。
RegisteredHardwarePhones	現在システムに登録されている Cisco ハードウェア IP Phone (Cisco IP Phone 7960、7940、7910 などのモデル) の数を表します。
RegisteredMGCPGateway	現在システムに登録されている MGCP ゲートウェイの数を表します。
RegisteredOtherStationDevices	現在システムに登録されている Cisco ハードウェア IP Phone 以外の端末デバイス (Cisco IP SoftPhone、CTI ポート、CTI ルートポイント、Cisco ボイスメール ポートなど) の数を表します。

表 6-3 Cisco CallManager (続き)

カウンタ	カウンタの説明
SIPLineServerAuthorizationChallenges	Cisco CallManager サーバが SIP 電話に対して発行した着信 SIP 要求の認証のチャレンジ回数を表示します。認証のチャレンジは、ダイジェスト認証が有効な SIP 電話から Cisco CallManager に SIP 回線要求を送信したときに発生します。
SIPLineServerAuthorizationFailures	SIP 電話から Cisco CallManager サーバに対する着信 SIP 要求の認証チャレンジの失敗回数を表示します。認証の失敗は、ダイジェスト認証が有効な SIP 電話から Cisco CallManager に、クレデンシャルが不正な SIP 回線要求を送信したときに発生します。
SIPTrunkApplicationAuthorization	Cisco CallManager サーバが SIP トランクに対して発行した着信 SIP 要求のアプリケーションレベルの認証チェックの回数を表示します。アプリケーションレベルの認証チェックは、Cisco CallManager システムが、着信 SIP 要求と、Cisco CallManager Administration の SIP Trunk Security Profile ウィンドウのアプリケーションレベルの設定を比較したときに発生します。
SIPTrunkApplicationAuthorizationFailures	Cisco CallManager SIP トランクで発生した着信 SIP 要求のアプリケーションレベルの認証の失敗回数を表示します。アプリケーションレベルの認証の失敗は、Cisco CallManager システムが、着信 SIP 要求と、Cisco CallManager Administration の SIP Trunk Security Profile ウィンドウのアプリケーションレベルの設定を比較し、そのウィンドウ上の 1 つまたは複数の機能に関するアプリケーションレベルの認証が許可されないことが確認された場合に発生します。
SIPTrunkServerAuthorizationChallenges	Cisco CallManager が SIP トランクに対して発行した着信 SIP 要求の認証チャレンジ回数を表示します。認証チャレンジは、ダイジェスト認証が有効な SIP トランクから Cisco CallManager に SIP 要求を送信したときに発生します。
SIPTrunkServerAuthorizationFailures	SIP トランクから Cisco CallManager への着信 SIP 要求で発生した認証チャレンジの失敗回数を表示します。認証の失敗は、ダイジェスト認証が有効な SIP トランクから Cisco CallManager に、クレデンシャルが不正な SIP 要求を送信したときに発生します。
SWConferenceActive	Cisco CallManager に登録されているすべてのソフトウェア会議デバイス上のアクティブな会議の合計数を表示します。
SWConferenceCompleted	Cisco CallManager から割り当てられたソフトウェア Conference Bridge を使用して完了した会議の合計数を表示します。つまり、Conference Bridge は割り当てられて、解放されています。会議は、最初のコールがブリッジに接続されたときにアクティブになります。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除されたときに完了します。
SWConferenceOutOfResources	使用可能なソフトウェア会議リソースがなかった場合に、Cisco CallManager に登録されているソフトウェア会議リソースから、Cisco CallManager が割り当てを試行した回数の合計数を表示します。カウンタには、新規の参加者を既存の会議に追加することに失敗した試行が含まれます。

表 6-3 Cisco CallManager (続き)

カウンタ	カウンタの説明
SWConferenceResourceActive	Cisco CallManager に登録されているすべてのソフトウェア会議デバイス上で使用中の会議リソースの合計数を表します。システムは、1 つまたは複数のコールがブリッジに接続されたときに、会議がアクティブであるとみなします。1 つのリソースは1 つのストリームと同等です。
SWConferenceResourceAvailable	Cisco CallManager に対して同時に開始できる新規のソフトウェアベースの会議の数を表します。新規の各会議に対して最低3 つのストリームが使用可能である必要があります。1 つのリソースは1 つのストリームと同等です。
SWConferenceResourceTotal	Cisco CallManager に現在登録されているすべてのソフトウェア Conference Bridge デバイスから提供されているソフトウェア会議リソースの合計数を表します。
SystemCallsAttempted	サーバから発信されたコールと Unity Message Waiting Indicator (MWI) に試行されたコールの合計数を表します。
T1ChannelsActive	この Cisco CallManager でアクティブなコールの T1 CAS 音声チャンネルの数を表します。
T1SpansInService	現在使用可能な T1 CAS スパンの数を表します。
TLSConnectedSIPTrunks	Transport Layer Security (TLS) で設定され、接続された SIP トランクの数を表します。
TLSConnectedWSM	Transport Layer Security (TLS) で設定され、Motorola WSM に接続された WSM コネクタの数を表します。
TranscoderOutOfResources	使用可能なトランスコーダ リソースがなかった場合に、Cisco CallManager に登録されているトランスコーダ デバイスから、Cisco CallManager が割り当てを試行した回数の合計数を表します。
TranscoderResourceActive	Cisco CallManager に登録されているすべてのトランスコーダデバイス上で使用中のトランスコーダの合計数を表します。使用中のトランスコーダは、コールで使用するために割り当てられている1 つのトランスコーダ リソースを表します。各トランスコーダ リソースは、2 つのストリームを使用します。
TranscoderResourceAvailable	Cisco CallManager に登録されているすべてのトランスコーダデバイス上に割り当てられていて使用可能な、現在は未使用のトランスコーダ リソースの合計数を表します。各トランスコーダ リソースは、2 つのストリームを使用します。
TranscoderResourceTotal	Cisco CallManager に現在登録されているすべてのトランスコーダ デバイスから提供されているトランスコーダ リソースの合計数を表します。
VCBConferenceActive	Cisco CallManager に登録されているすべてのビデオ Conference Bridge デバイス上のアクティブなテレビ会議の合計数を表します。
VCBConferenceAvailable	Cisco CallManager に登録されているすべてのビデオ Conference Bridge デバイス上の新規のテレビ会議の合計数を表します。

表 6-3 Cisco CallManager (続き)

カウンタ	カウンタの説明
VCBConferenceCompleted	Cisco CallManager から割り当てられたビデオ Conference Bridge を使用して完了したテレビ会議の合計数を表します。つまり、Conference Bridge は割り当てられて、解放されています。会議は、最初のコールがブリッジに接続されたときにアクティブになります。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除されたときに完了します。
VCBConferenceTotal	Cisco CallManager に登録されているすべてのビデオ Conference Bridge デバイス上でサポートされているテレビ会議の合計数を表します。
VCBOutOfConferences	使用可能なテレビ会議リソースがなかった場合に、Cisco CallManager に登録されているテレビ会議リソースから、Cisco CallManager が割り当てを試行した回数の合計数を表します。
VCBOutOfResources	失敗した新規のテレビ会議要求の合計数を表します。設定されている数の会議がすでに使用中であるなどの理由で、会議の要求が失敗する場合があります。
VCBResourceActive	Cisco CallManager に登録されているすべてのテレビ会議デバイス上で使用中のテレビ会議リソースの合計数を表します。
VCBResourceAvailable	非アクティブで、現在使用可能なテレビ会議リソースの合計数を表します。
VCBResourceTotal	Cisco CallManager に現在登録されているすべてのビデオ Conference Bridge デバイスにより提供されているテレビ会議リソースの合計数を表します。
VideoCallsActive	Cisco CallManager に登録されているすべてのビデオ Conference Bridge デバイス上のアクティブなビデオストリーミング接続を持つアクティブなビデオコールの合計数を表します。
VideoCallsCompleted	ビデオストリームに実際に接続され、その後解放されたビデオコールの数を表します。
VideoOutOfResources	使用可能なビデオストリーミングリソースがなかった場合に、Cisco CallManager に登録されているビデオ Conference Bridge リソースのうち1つから、Cisco CallManager が割り当てを試行した回数の合計数を表します。

Cisco CallManager Attendant Console

Cisco CallManager Attendant Console (Cisco CallManager Attendant Console Server サービス) オブジェクトは、Cisco CallManager Attendant Console についての情報を提供します。表 6-4 に、Cisco CallManager Attendant Console カウンタの情報を示します。

表 6-4 Cisco CallManager Attendant Console

カウンタ	カウンタの説明
CallsActive	このカウンタは使用しないでください。このカウンタの情報は、アクティブなコールの合計数を正確に反映していない場合があります。
CallsRedirected	Cisco CallManager Attendant Console Server サービスに転送されたコールの合計数を表します。この数は、パイロットポイントがコールを受信し、そのコールをハントグループのメンバーに転送するたびに増加します。
CallsTotal	Cisco CallManager Attendant Console Server サービスの開始以降に発信されたすべてのコールの合計数を表します。
CcmLineLinkState	回線の状態を表します。値には、0、1、10、または11があります。値0は、Cisco CallManager Attendant Console Server サービスが登録されていないこと、またはCisco CallManager から回線リンク状態情報を受信していないことを示します。値1は、Cisco CallManager Attendant Console Server サービスが登録されており、Cisco CallManager から回線リンク状態情報を受信していることを示します。値10は、Cisco CallManager Attendant Console Server サービスがCTIにログインしているが登録されていないこと、またはCisco CallManager から回線リンク状態情報を受信していないことを示します。値11は、Cisco CallManager Attendant Console Server サービスがCTIにログインして登録されており、回線リンク状態情報を受信していることを示します。
ClientsOnline	現在オンラインであるCisco CallManager Attendant Console クライアントの合計数を表します。Attendant Console クライアントには、現在オンラインであるCisco CallManager Administration のAttendant Console User Configuration ウィンドウで設定されているすべてのユーザが含まれます。この数は、各クライアントがオンラインになるたびに1つつ増加し、各クライアントがオフラインになるたびに1つつ減少します。
ClientsRegistered	Cisco CallManager Attendant Console Server サービスに対して登録されたクライアントの合計数を表します。この数は、クライアントアプリケーションがログインしたとき、Cisco CallManager Attendant Console が新しく登録されるたびに1つつ増加します。
ClientsTotal	現在Cisco CallManager Attendant Console Server サービスに登録されているCisco CallManager Attendant Console クライアントの合計数を表します。Attendant Console クライアントは、Cisco CallManager Administration のAttendant Console User Configuration ウィンドウで設定されているすべてのユーザを表します。
HeartBeat	Cisco CallManager Attendant Console Server サービスのハートビートを表します。この増分カウントは、Cisco CallManager Attendant Console Server サービスが稼働中であることを示します。カウントが増加しない場合は、サービスがダウンしていることを意味しています。
LinesActive	このカウンタは使用しないでください。このカウンタの情報は、アクティブな回線の合計数を正確に反映していない場合があります。

表 6-4 Cisco CallManager Attendant Console (続き)

カウンタ	カウンタの説明
LinesIdle	このカウンタは使用しないでください。このカウンタの情報は、アイドル回線の合計数を正確に反映していない場合があります。
LinesTotal	このカウンタは使用しないでください。このカウンタの情報は、回線の合計数を正確に反映していない場合があります。
PilotPointsTotal	Cisco CallManager に設定されているパイロットポイントの合計数を表します。
StartTime	Cisco CallManager Attendant Console Server サービスが開始されてからの時間をミリ秒単位で表します。コンピュータ内のリアルタイムクロックは、現在の時刻と経過した時間をミリ秒単位で示す単なる参照ポイントです。開始されたサービスでこの時刻の基準が提供されるためです。参照ポイントは、1970年1月1日の午前0時を指定しています。
Version	Cisco CallManager Attendant Console Server サービスのバージョンを表します。

Cisco CallManager System Performance

Cisco CallManager System Performance オブジェクトは、Cisco CallManager についてのシステム パフォーマンス情報を提供します。表 6-5 に、Cisco CallManager System Performance カウンタの情報を示します。

表 6-5 Cisco CallManager System Performance

カウンタ	カウンタの説明
AverageExpectedDelay	着信メッセージを処理する前の、現在の平均予測遅延を表します。
CallsRejectedDueToCallThrottling	サービスの開始以後、コールスロットリングのため拒否されたコールの合計数を表します。
CallThrottlingGenericCounter3	コールスロットリングで使用される汎用カウンタを表します。
CodeRedEntryExit	Cisco CallManager が Code Red 状態(コールスロットリングモード)に入ったか、または Code Red 状態から出たかを表します。有効な値は、0 (Exit) および 1 (Entry) です。
CodeYellowEntryExit	Cisco CallManager が Code Yellow 状態 (コールスロットリングモード)に入ったか、または Code Yellow 状態から出たかを表します。有効な値は、0 (Exit) および 1 (Entry) です。
EngineeringCounter1	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは使用しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を使用します。
EngineeringCounter2	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは使用しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を使用します。
EngineeringCounter3	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは使用しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を使用します。
EngineeringCounter4	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは使用しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を使用します。
EngineeringCounter5	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは使用しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を使用します。
EngineeringCounter6	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは使用しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を使用します。
EngineeringCounter7	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは使用しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を使用します。
EngineeringCounter8	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは使用しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を使用します。

表 6-5 Cisco CallManager System Performance (続き)

カウンタ	カウンタの説明
QueueSignalsPresent 1-High	Cisco CallManager キューの高優先順位信号の数を表します。高優先順位信号には、特に、タイムアウト イベント、内部 Cisco CallManager キープアライブ、特定のゲートキーパー イベント、内部プロセスの作成などのイベントが含まれています。多数の高優先順位イベントは、Cisco CallManager のパフォーマンスの低下をもたらす、コール接続の遅延やダイヤルトーンの消失の原因となります。このカウンタを QueueSignalsProcessed 1-High カウンタと併用して、Cisco CallManager 上の処理の遅延を判別します。
QueueSignalsPresent 2-Normal	Cisco CallManager キューの通常優先順位信号の数を表します。通常優先順位信号には、特に、コール処理機能、キーの押下、オンフックとオフフックの通知などのイベントが含まれています。多数の通常優先順位のイベントは、Cisco CallManager のパフォーマンスの低下をもたらす、ダイヤルトーンの遅延、コール接続の遅延、またはダイヤルトーンの消失の原因となる場合があります。このカウンタを QueueSignalsProcessed 2-Normal カウンタと併用して、Cisco CallManager 上の処理の遅延を判別します。高優先順位信号は通常優先順位信号が処理を開始する前に完了する必要があることに注意してください。したがって、高優先順位カウンタを確認し、遅延の可能性の正確な状況を取得してください。
QueueSignalsPresent 3-Low	Cisco CallManager キューの低優先順位信号の数を表します。低優先順位信号には、特に、端末デバイスの登録（初期端末登録要求メッセージは除く）などのイベントが含まれています。このキュー内の多数の信号は、特に、デバイス登録遅延のイベントの原因となります。
QueueSignalsPresent 4-Lowest	Cisco CallManager キューの最低優先順位信号の数を表します。最低優先順位信号には、特に、デバイス登録中の初期端末登録要求メッセージなどのイベントが含まれています。このキュー内の多数の信号は、特に、デバイス登録遅延のイベントの原因となります。
QueueSignalsProcessed 1-High	Cisco CallManager によって 1 秒間隔で処理される最高優先順位信号の数を表します。このカウンタを QueueSignalsPresent 1-High カウンタと併用して、このキューの処理の遅延を判別します。
QueueSignalsProcessed 2-Normal	Cisco CallManager によって 1 秒間隔で処理される通常優先順位信号の数を表します。このカウンタを QueueSignalsPresent 2-Normal カウンタと併用して、このキューの処理の遅延を判別します。高優先順位信号は通常優先順位信号の前に処理されることに注意してください。
QueueSignalsProcessed 3-Low	Cisco CallManager によって 1 秒間隔で処理される低優先順位信号の数を表します。このカウンタを QueueSignalsPresent 3-Low カウンタと併用して、このキューの処理の遅延を判別します。処理される信号の数は、この時間間隔内でデバイス登録アクティビティが処理される量の指標となります。

表 6-5 Cisco CallManager System Performance (続き)

カウンタ	カウンタの説明
QueueSignalsProcessed 4-Lowest	Cisco CallManager によって 1 秒間隔で処理される最低優先順位信号の数を表します。このカウンタを QueueSignalsPresent 4-Lowest カウンタと併用して、このキューの処理の遅延を判別します。処理される信号の数は、この時間間隔内で Cisco CallManager 登録処理を開始したデバイスの数の指標となります。
QueueSignalsProcessed Total	高、通常、低、最低のすべてのキュー レベルについて、それぞれ 1 秒間に Cisco CallManager によって処理されるすべてのキュー信号の合計を表します。
SkinnyDevicesThrottled	スロットリングされる Skinny デバイスの合計数を表します。Skinny デバイスが生成したイベントの合計数が、設定されている最大しきい値 (デフォルト値は 2000 イベント) を 5 秒以内で超えたとき、Skinny デバイスはスロットリングされます (シャットダウンと再登録を求められます)。
ThrottlingSampleActivity	設定されたサンプル サイズのうち、averageExpectedDelay の値が 0 でないサンプルがいくつあるかを示します。このカウンタは、averageExpectedDelay の値が 0 のサンプルがあった場合にリセットされます。サンプルのバッチごとにこのプロセスが繰り返されます。バッチは、設定されたサンプル サイズを表します。
TotalCodeYellowEntry	Cisco CallManager コール処理が Code Yellow 状態に入る回数を表します。このカウンタは、Cisco CallManager プロセス開始時から累積されます。

Cisco CTI Manager

Cisco CTI Manager オブジェクトは、Cisco CTI Manager についての情報を提供します。表 6-6 に、Cisco CTI Manager カウンタの情報を示します。

表 6-6 Cisco CTI Manager

カウンタ	カウンタの説明
CcmLinkActive	アクティブな Cisco CallManager リンクの合計数を表します。CTI Manager は、クラスタ内のすべてのアクティブな Cisco CallManager へのリンクを維持します。
CTIConnectionActive	現在 CTI Manager に接続されている CTI クライアントの合計数を表します。このカウンタは、新しい接続が確立されると 1 つ増加し、接続が解放されると 1 つ減少します。CTI Manager サービス パラメータ MaxCTIConnections は、アクティブな接続の最大数を設定します。
DevicesOpen	CTI アプリケーションが制御してモニタする Cisco CallManager に設定されているデバイスの合計数を表します。デバイスには、ハードウェア IP Phone、CTI ポート、CTI ルート ポイントなどがあります。
LinesOpen	CTI アプリケーションを制御してモニタする Cisco CallManager に設定されている回線の合計数を表します。
QbeVersion	CTI Manager が使用する Quick Buffer Encoding (QBE) インターフェイスのバージョン番号を表します。

Cisco Dual-Mode Mobility

Cisco Dual-Mode Mobility オブジェクトは、Cisco CallManager の Dual-Mode Mobility アプリケーションについての情報を提供します。表 6-7 に、Cisco Dual-Mode Mobility カウンタの情報を示します。

表 6-7 Cisco Dual-Mode Mobility

カウンタ	カウンタの説明
CallsAnchored	Cisco CallManager 内でアンカーされたデュアルモード電話機で送信または受信するコール数を表します。このカウンタは、デュアルモード電話機でコールが送信または受信された場合に増分されます。デュアルモード電話機から別のデュアルモード電話機へのコールの場合は2倍増分されます。
DMMSRegistered	無線 LAN (WLAN) に登録された Dual-mode Mobile Station (DMMS) 加入者数を表します。
FollowMeAborted	失敗した follow-me 操作の数を表します。
FollowMeAttempted	Cisco CallManager が試行した follow-me 操作の数を表します。このカウンタは、Wireless Service Manager (WSM) からの SIP 302 (Moved Temporarily : 一次的な移動) メッセージが受信され、Cisco CallManager が WLAN の DMMS にコールを転送する場合に増分されます。
FollowMeCompleted	正常に完了した follow-me 操作の数を表します。このカウンタは、WLAN 内の DMMS がコールに応答し、発信側デバイスとのメディア (音声パス) が正常に確立された場合に増分されます。
FollowMeInProgress	現在進行中の follow-me 操作の数を表します。このカウンタは、follow-me 操作が試行されたときに増分され、follow-me 操作が中止されたときまたは完了したときに減少します。
H1HandOutAttempted	デュアルモード電話機が試行した H1 hand-out 操作の数を表します。このカウンタは、Cisco CallManager が DMMS から H1 の番号へのコールを処理したときに増分されます。
H1HandOutCompleted	正常に完了した H1 hand-out 操作の数を表します。このカウンタは、WLAN の DMMS がメディア (音声パス) を正常に確立したときに増分されます。
H2HandOutCompleted	正常に完了した H2 hand-out 操作の数を表します。このカウンタは、WLAN の DMMS がメディア (音声パス) を正常に確立したときに増分されます。
H2HandOutsAttempted	デュアルモード電話機が試行した H2 hand-out 操作の数を表します。このカウンタは、Cisco CallManager が DMMS から H2 の番号へのコールを受信したときに増分されます。
HandInAborted	失敗した hand-in 操作の数を表します。
HandInAttempted	デュアルモード電話機が試行した hand-in 操作の数を表します。
HandInCompleted	正常に完了した hand-in 操作の数を表します。このカウンタは、WLAN の DMMS がメディア (音声パス) を正常に確立したときに増分されます。
HandInInProgress	現在進行中の hand-in 操作の数を表します。このカウンタは、hand-in 操作が試行されたときに増分され、hand-in 操作が中止されたときまたは完了したときに減少します。
Hand Out Aborted	失敗した hand-out 操作の数を表します。

表 6-7 Cisco Dual-Mode Mobility (続き)

カウンタ	カウンタの説明
Hand Out In Progress	現在進行中の H1 および H2 hand-out 操作の数を表します。このカウンタは、H1 および H2 hand-out 操作が試行されたときに増分され、H1 および H2 hand-out 操作が中止されたときまたは完了したときに減少します。

Cisco Extension Mobility

Cisco Extension Mobility オブジェクトは、エクステンション モビリティ アプリケーションについての情報を提供します。表 6-8 に、Cisco CallManager Extension Mobility カウンタの情報を示します。

表 6-8 Cisco Extension Mobility アプリケーション

カウンタ	カウンタの説明
RequestsHandled	Cisco CallManager サービスの最後の再起動以降にエクステンション モビリティ アプリケーションが処理した HTTP 要求の合計数を表します。標準的なログインは、2 つの HTTP 要求から構成されています。1 つは、デバイスの初期ログイン状態へのクエリーです。もう 1 つは、デバイス上のユーザへのログインです。同様に、標準的なログアウトも 2 つの HTTP 要求になります。
RequestsInProgress	エクステンション モビリティ アプリケーションが現在処理している HTTP 要求の数を表します。標準的なログインは、2 つの HTTP 要求から構成されています。1 つは、デバイスの初期ログイン状態へのクエリーです。もう 1 つは、デバイス上のユーザへのログインです。同様に、標準的なログアウトも 2 つの HTTP 要求になります。
Requests Throttled	スロットリングのために失敗したログイン要求またはログアウト要求の合計数を表します。
Successful Logins	EM Service を使用して正常に完了したログイン要求の合計数を表します。
Successful Logouts	EM Service を使用して正常に完了したログアウト要求の合計数を表します。
Total Attempted Login/Logout Requests	この EM Service を使用して試行されたログイン要求およびログアウト要求の合計数を表します。この数には、成功した試行と失敗した試行の両方が含まれます。

Cisco Gatekeeper

Cisco Gatekeeper オブジェクトは、登録済み Cisco Gatekeeper デバイスについての情報を提供します。表 6-9 に、Cisco Gatekeeper デバイス カウンタの情報を示します。

表 6-9 Cisco Gatekeeper

カウンタ	カウンタの説明
ACFsReceived	設定済みゲートキーパーとその代替ゲートキーパーから受信した RAS Admission Confirm メッセージの合計数を表します。
ARQsAttempted	設定済みゲートキーパーとその代替ゲートキーパーを使用して試行した RAS Admission Request メッセージの合計数を表します。
RasRetries	設定済みゲートキーパーとその代替ゲートキーパー上のすべての RAS 確認応答メッセージの消失や遅延によるリトライ回数を表します。
VideoOutOfResources	帯域幅の不足などが原因で失敗した、設定済みゲートキーパーまたはその代替ゲートキーパーへのビデオストリーム要求の合計数を表します。

Cisco H.323

Cisco H.323 オブジェクトは、登録済み Cisco H.323 デバイスについての情報を提供します。表 6-10 に、Cisco H.323 デバイス カウンタの情報を示します。

表 6-10 Cisco H.323

カウンタ	カウンタの説明
CallsActive	設定済み H.323 デバイス上で現在アクティブな（使用中の）ストリーミング接続の数、つまり、接続されている音声パスが実際に存在するコールの数を表します。
CallsAttempted	デバイス上で試行されたコールの合計数を表します。成功したコールの試行と失敗したコールの試行の両方が含まれます。
CallsCompleted	デバイスから発信され成功したコールの合計数を表します。
CallsInProgress	デバイス上で現在進行中のコール数を表します。
VideoCallsActive	Cisco CallManager に登録されているすべての H.323 トランク上で現在アクティブな（使用中の）ビデオ ストリーミング接続を持つビデオコール数、つまり、Cisco CallManager 上にビデオストリーミング接続が実際に存在するコール数を表します。
VideoCallsCompleted	Cisco CallManager に登録されているすべての H.323 トランクに対するビデオ ストリームに実際に接続されたビデオ コールの数を表します。この数は、コールが終了したときに増加します。

Cisco Hunt Lists

Cisco Hunt Lists オブジェクトは、Cisco CallManager Administration で定義されているハントリストについての情報を提供します。表 6-11 に、Cisco Hunt Lists カウンタの情報を示します。

表 6-11 Cisco Hunt Lists

カウンタ	カウンタの説明
CallsAbandoned	ハントリストを介して発生し、放棄されたコールの数を表します。放棄されたコールとは、コールに回答する前に発信者がハングアップするコールです。
CallsActive	ハントリストを介して発生する現在アクティブな（使用中の）コール数を表します。アクティブコールとは、配布され、応答された、音声パスが接続されているコールです。
CallsBusyAttempts	回線グループとルートグループのすべてのメンバーがビジーであるときに、ハントリストを介して試行されたコールの回数を表します。
CallsInProgress	ハントリストを介して現在進行中のコール数を表します。進行中のコールとは、Call Distributor が回線グループまたはルートグループのメンバーへの拡張を試行していて、まだ応答されていないコールです。ハントリストメンバーの例としては、回線、端末デバイス、トランクデバイス、トランクデバイスのポートやチャンネルがあります。
CallsRingNoAnswer	ハントリストを介したコールで、呼び出しに着信側が応答しなかったコールの合計数を表します。
HuntListInService	特定のハントリストが現在動作中であるかどうかを指定します。値 0 は、ハントリストが停止中であることを示します。値 1 は、ハントリストが動作中であることを示します。ハントリストが Cisco CallManager Group に基づくプライマリ Cisco CallManager 上で動作していないため、またはハントリストが Cisco CallManager Administration で使用不可にされているため、ハントリストが停止中である可能性があります。
MembersAvailable	動作中のハントリストに属している回線グループとルートグループの、使用可能なメンバーまたはアイドルメンバーの合計数を表します。使用可能なメンバーは、コールを現在処理していて、新規のコールを受け入れます。アイドルメンバーは、コールは何も処理していないで、新しいコールを受信します。ハントリストメンバーは、ルートグループ、回線グループ、または組み合わせから構成できます。回線グループのメンバーとは、IP Phone またはボイスメールポートの回線の電話番号です。ルートグループのメンバーとは、端末ゲートウェイ、トランクゲートウェイ、またはトランクゲートウェイのポートやチャンネルです。

Cisco HW Conference Bridge Device

Cisco HW Conference Bridge Device オブジェクトは、登録済み Cisco ハードウェア Conference Bridge デバイスについての情報を提供します。表 6-12 に、Cisco HW Conference Bridge Device カウンタの情報を示します。

表 6-12 Cisco HW Conference Bridge Device

カウンタ	カウンタの説明
HWConferenceActive	HW Conference Bridge デバイス上で現在アクティブな（使用中の）会議の数を表します。1つのリソースは1つのストリームを表します。
HWConferenceCompleted	HW 会議デバイス上に割り当てられ、解放された会議の合計数を表します。会議は、最初のコールがブリッジに接続されたときに開始します。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除されたときに完了します。
OutOfResources	HW 会議デバイスから会議リソースの割り当てを試行して、すべてのリソースがすでに使用中であるなどの理由で失敗した回数の合計数を表します。
ResourceActive	HW 会議デバイスで現在使用中の（アクティブな）リソースの数を表します。1つのリソースは1つのストリームを表します。
ResourceAvailable	非アクティブで、HW 会議デバイスで現在まだ使用可能なリソースの合計数を表します。1つのリソースは1つのストリームを表します。
ResourceTotal	HW Conference Bridge デバイス用リソースの合計数を表します。ResourceAvailable カウンタと ResourceActive カウンタの合計数と等しい数です。1つのリソースは1つのストリームを表します。

Cisco IP Manager Assistant

Cisco IP Manager Assistant (IPMA) Service オブジェクトは、Cisco IP Manager Assistant アプリケーションについての情報を提供します。表 6-13 に、Cisco IPMA カウンタの情報を示します。

表 6-13 Cisco IP Manager Assistant Service

カウンタ	カウンタの説明
AssistantsActive	現在アクティブなアシスタント コンソールの数を表します。アクティブなアシスタント コンソールは、アシスタントが自分のアシスタント コンソールのデスクトップアプリケーションからログインする場合に存在します。
LinesOpen	Cisco IPMA アプリケーションが開いた電話回線の数を表します。開いている電話回線は、IPMA アプリケーションが CTI からの回線制御を前提としている場合に存在します。
ManagersActive	Cisco IPMA がサービスを行っているマネージャの現在の数を表します。
SessionsCurrent	現在 Cisco IPMA アプリケーションを使用しているマネージャ アシスタントの合計数を表します。各マネージャと各アシスタントは、アクティブセッションを構成します。したがって、1組のマネージャとアシスタントに対して、このカウンタは2つのセッションを反映します。

Cisco Lines

Cisco Lines オブジェクトは、ダイヤルしてデバイスに接続できる Cisco 回線（電話番号）の数を表します。回線は、エンドポイントで終了するすべての電話番号を表します。割り当てられた電話番号は、回線を識別します。Cisco Lines オブジェクトには、Digital Access ゲートウェイまたは Analog Access ゲートウェイのパターンなどのワイルドカードを含む電話番号は含まれていません。

Active カウンタは、回線の状態、アクティブまたは非アクティブのいずれかを表します。0 は、回線が未使用であることを示します。数値が 0 より大きい場合は、回線がアクティブであることを示しています。数値はその回線で現在進行中のコール数を表します。複数のコールがアクティブである場合は、明確に保留状態に置かれている（ユーザ保留）、またはネットワーク保留操作（たとえば、転送が進行中でその転送が保留状態）のいずれかの理由で、コールが保留状態であることが示されます。これは、任意のデバイスに割り当てられるすべての電話番号に適用されます。

Cisco Locations

Cisco Location オブジェクトは、Cisco CallManager に定義されている場所についての情報を提供します。表 6-14 に、Cisco location カウンタの情報を示します。

表 6-14 Cisco Locations

カウンタ	カウンタの説明
BandwidthAvailable	特定の場所の現在の帯域幅を表します。値 0 は、使用できる帯域幅がないことを示します。
BandwidthMaximum	特定の場所で使用可能な最大帯域幅を表します。値 0 は、使用可能な帯域幅が無限であることを示します。
CallsInProgress	特定の Cisco CallManager 上で現在進行中のコール数を表します。
OutOfResources	その場所を経由した特定の Cisco CallManager 上のコールが帯域幅の不足のため失敗した回数の合計数を表します。
RSVP AudioReservationErrorCounts	オーディオ ストリーム内の RSVP 予約エラーの数を表します。
RSVP MandatoryConnectionsInProgress	必須の RSVP を使用した進行中の接続の数を表します。
RSVP OptionalConnectionsInProgress	オプションの RSVP を使用した進行中の接続の数を表します。
RSVP TotalCallsFailed	RSVP 予約の失敗によって失敗したコールの合計数を表します。
RSVP VideoCallsFailed	RSVP 予約の失敗によって失敗したビデオ コールの数を表します。
RSVP VideoReservationErrorCounts	ビデオ ストリーム内の RSVP 予約エラーの数を表します。
VideoBandwidthAvailable	テレビ会議の開始者がいる場所にあるビデオが現在使用可能な帯域幅を表します。値 0 は、使用できる帯域幅がないことを示します。
VideoBandwidthMaximum	テレビ会議の開始者がいる場所にあるビデオが使用可能な最大帯域幅を表します。値 0 は、ビデオに割り当てられている帯域幅がないことを示します。
VideoOutOfResources	テレビ会議を開始した人がいる場所で失敗したビデオストリーム要求（帯域幅の不足などが原因）の合計数を表します。

Cisco Media Streaming Application

Cisco IP Voice Media Streaming Application オブジェクトは、登録済みの MTP、MOH サーバ、Conference Bridge サーバ、および Annunciator についての情報を提供します。表 6-15 に、Cisco IP Voice Media Streaming Application カウンタの情報を示します。



(注)

デバイス プールに関連付けられている Cisco CallManager グループの各 Cisco CallManager に対して 1 つのオブジェクトがあります。Annunciator デバイスはそのデバイス プールを使用するように設定されています。

表 6-15 Cisco Media Streaming Application

カウンタ	カウンタの説明
ANNConnectionsLost	Cisco IP Voice Media Streaming Application を最後に再起動してから Cisco CallManager 接続が失われた回数の合計数を表します。
ANNConnectionState	Annunciator に関連付けられている各 Cisco CallManager に対して、Cisco CallManager への現在の登録状態を表します。0 は、Cisco CallManager への登録がないことを示します。1 はプライマリ Cisco CallManager への登録を示します。2 は、セカンダリ Cisco CallManager への接続を示します (Cisco CallManager には接続されていますが、プライマリ Cisco CallManager 接続が失敗するまでは登録されません)。
ANNConnectionsTotal	Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスの開始以降に開始された Annunciator インスタンスの合計数を表します。
ANNInstancesActive	アクティブに再生している (現在使用中の) アナウンスの数を表します。
ANNStreamsActive	すべての接続に対して現在アクティブなシンプレックス (単方向) ストリームの合計数を表します。各ストリームの方向は、1 つのストリームとしてカウントします。1 つの内部ストリームがオーディオ入力を提供し、別の出力ストリームがエンドポイント デバイスへの入力を提供します。
ANNStreamsAvailable	使用可能な Annunciator デバイスに対して割り当てられているストリームの残りの数を表します。このカウンタは、設定されている接続の数 (Cisco IP Voice Media Streaming App サービス パラメータで Annunciator、Call Count に対して定義されている) の 2 倍の数で開始します。アクティブなストリームが開始されるたびに 1 つずつ減少します。
ANNStreamsTotal	Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスの開始以降に Annunciator デバイスに接続されたシンプレックス (単方向) ストリームの合計数を表します。
CFBConferencesActive	アクティブな (現在使用中の) 会議の数を表します。
CFBConferencesTotal	Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスの開始以降に開始された会議の合計数を表します。
CFBConnectionsLost	Cisco IP Voice Media Streaming Application を最後に再起動してから Cisco CallManager 接続が失われた回数の合計数を表します。

表 6-15 Cisco Media Streaming Application (続き)

カウンタ	カウンタの説明
CFBConnectionState	SW Conference Bridge に関連付けられている各 Cisco CallManager に対して、Cisco CallManager への現在の登録状態を表します。 0 は、Cisco CallManager への登録がないことを示します。1 はプライマリ Cisco CallManager への登録を示します。2 は、セカンダリ Cisco CallManager への接続を示します (Cisco CallManager には接続されていますが、プライマリ Cisco CallManager 接続が失敗するまでは登録されません)。
CFBStreamsActive	すべての会議に対して現在アクティブなシンプレックス (単方向) ストリームの合計数を表します。各ストリームの方向は、1つのストリームとしてカウントします。通話者が3名の会議では、アクティブなストリームの数は6です。
CFBStreamsAvailable	使用可能な Conference Bridge に対して割り当てられている Conference Bridge の残りの数を表します。このカウンタは、設定されている接続の数 (Cisco IP Voice Media Streaming App サービス パラメータで Conference Bridge、Call Count に対して定義されている) の2倍の数で開始します。アクティブなストリームが開始されるたびに1つずつ減少します。
CFBStreamsTotal	Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスの開始以降に Conference Bridge に接続されたシンプレックス (単方向) ストリームの合計数を表します。
MOHAudioSourcesActive	この MOH サーバ用のアクティブな (現在使用中の) オーディオソースを表します。受信しているデバイスが存在しない場合は、オーディオソースの一部がアクティブなストリーミングオーディオデータでない場合もあります。例外はマルチキャストオーディオソースです。常にストリーミングオーディオとなります。 オーディオソースが使用中の場合、受信側が切断された後でも、各設定済み MOH コーデック用の入力ストリームがこのカウンタに常に1つあります。ユニキャストストリームでは、デバイスが接続し、ストリームを受信するまでは、受信するオーディオデータがなく、ストリームがサスペンド状態である場合があります。各 MOH マルチキャストリソースは、オーディオソースとコーデックそれぞれの組み合わせに対して1つのストリームを使用します。たとえば、マルチキャスト、G.711 mu-law、ワイドバンドコーデックに対してデフォルトオーディオソースを設定した場合、2つのストリーム (デフォルトオーディオソースと G.711 mu-law、およびデフォルトオーディオソースとワイドバンド) が使用されます。
MOHConnectionsLost	Cisco IP Voice Media Streaming Application を最後に再起動してから Cisco CallManager 接続が失われた回数の合計数を表します。
MOHConnectionState	MOH に関連付けられている各 Cisco CallManager に対して、Cisco CallManager への現在の登録状態を表します。0 は、Cisco CallManager への登録がないことを示します。1 はプライマリ Cisco CallManager への登録を示します。2 は、セカンダリ Cisco CallManager への接続を示します (Cisco CallManager には接続されていますが、プライマリ Cisco CallManager 接続が失敗するまでは登録されません)。

表 6-15 Cisco Media Streaming Application (続き)

カウンタ	カウンタの説明
MOHStreamsActive	<p>すべての接続に対してアクティブな（現在使用中の）シンプレックス（単方向）ストリームの合計数を表します。ユニキャスト オーディオソースを受信している各デバイスに対して1つの出力ストリームがあります。また、各アクティブ オーディオソースに対して1つの入力ストリームがあります。MOH コーデックの数で乗算されます。</p> <p>オーディオソースがいったん使用された後は、各設定済み MOH コーデック用の入力ストリームがこのカウンタに常に1つあります。ユニキャストストリームでは、デバイスが接続し、ストリームを受信するまでは、受信するオーディオデータがなく、ストリームがサスペンド状態である場合があります。各 MOH マルチキャストリソースは、オーディオソースとコーデックそれぞれの組み合わせに対して1つのストリームを使用します。たとえば、マルチキャスト、G.711 mu-law、ワイドバンドコーデックに対してデフォルトオーディオソースを設定した場合、2つのストリーム（デフォルトオーディオソースと G.711 mu-law、およびデフォルトオーディオソースとワイドバンド）が使用されます。</p>
MOHStreamsAvailable	<p>使用可能な MOH デバイスに対して割り当てられているストリームの残りの数を表します。このカウンタは、408 に、設定済み二重ユニキャスト接続数を加えた数で開始し、アクティブストリームが開始されるたびに1つずつ減少します。カウンタは、各マルチキャストオーディオソースに対して2つずつ減少します。設定済み MOH コーデックの数で乗算されます。カウンタは、各ユニキャストオーディオソースに対して1つずつ減少します。設定済み MOH コーデックの数で乗算されます。</p>
MOHStreamsTotal	<p>Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスの開始以降に MOH サーバに接続されたシンプレックス（単方向）ストリームの合計数を表します。</p>
MTPConnectionsLost	<p>Cisco IP Voice Media Streaming Application を最後に再起動してから Cisco CallManager 接続が失われた回数の合計数を表します。</p>
MTPConnectionState	<p>MTP に関連付けられている各 Cisco CallManager に対して、Cisco CallManager への現在の登録状態を表します。0 は、Cisco CallManager への登録がないことを示します。1 はプライマリ Cisco CallManager への登録を示します。2 は、セカンダリ Cisco CallManager への接続を示します（Cisco CallManager には接続されていますが、プライマリ Cisco CallManager 接続が失敗するまでは登録されません）。</p>
MTPConnectionsTotal	<p>Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスの開始以降に開始された MTP インスタンスの合計数を表します。</p>
MTPInstancesActive	<p>アクティブな（現在使用中の）MTP のインスタンスの数を表します。</p>
MTPStreamsActive	<p>すべての接続に対して現在アクティブなシンプレックス（単方向）ストリームの合計数を表します。各ストリームの方向は、1つのストリームとしてカウントします。</p>

表 6-15 Cisco Media Streaming Application (続き)

カウンタ	カウンタの説明
MTPStreamsAvailable	使用可能な MTP デバイスに対して割り当てられているストリームの残りの数を表します。このカウンタは、設定されている接続の数 (Cisco IP Voice Media Streaming App サービス パラメータで MTP、Call Count に対して定義されている) の 2 倍の数で開始します。アクティブなストリームが開始されるたびに 1 つずつ減少します。
MTPStreamsTotal	Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスの開始以降に MTP デバイスに接続されたシンプレックス (単方向) ストリームの合計数を表示します。

Cisco Messaging Interface

Cisco Messaging Interface オブジェクトは、Cisco Messaging Interface (CMI) サービスについての情報を提供します。表 6-16 に、Cisco Messaging Interface (CMI) カウンタの情報を示します。

表 6-16 Cisco Messaging Interface

カウンタ	カウンタの説明
HeartBeat	CMI サービスのハートビートを表します。この増分カウントは、CMI サービスが稼働中であることを示します。カウントが増加 (増分) しない場合は、CMI サービスがダウンしています。
SMDIMessageCountInbound	CMI サービスを最後に再起動してからの、着信 SMDI メッセージの実行中のカウントを表示します。
SMDIMessageCountInbound24Hour	最後の 24 時間以内の着信 SMDI メッセージのローリング カウントを表示します。
SMDIMessageCountOutbound	CMI サービスを最後に再起動してからの、発信 SMDI メッセージの実行中のカウントを表示します。
SMDIMessageCountOutbound24Hour	最後の 24 時間以内の発信 SMDI メッセージのローリング カウントを表示します。
StartTime	CMI サービスが開始された時間をミリ秒単位で表します。コンピュータ内のリアルタイム クロックは、現在の時刻と経過した時間をミリ秒単位で示す参照ポイントとして単に動作します。開始されたサービスでこの時刻の基準が提供されるためです。参照ポイントは、1970 年 1 月 1 日の午前 0 時を指定しています。

Cisco MGCP FXO Device

Cisco Media Gateway Control Protocol (MGCP) Foreign Exchange Office (FXO) Device オブジェクトは、登録済み Cisco MGCP FXO デバイスについての情報を提供します。表 6-17 に、Cisco MGCP FXO Device カウンタの情報を示します。

表 6-17 Cisco MGCP FXO Device

カウンタ	カウンタの説明
CallsCompleted	MGCP FXO デバイス上のポートから発信され成功したコールの合計数を表します。
OutboundBusyAttempts	使用可能な音声チャンネルがない場合に、この MGCP FXO デバイス上のポートを介して試行されたコールの回数の合計数を表します。
PortStatus	MGCP FXO デバイスに関連付けられている FXO ポートの状態を表します。

Cisco MGCP FXS Device

Cisco MGCP Foreign Exchange Station (FXS) Device オブジェクトは、登録済み Cisco MGCP FXS デバイスについての情報を提供します。Cisco Catalyst 6000 24 port FXS Analog Interface Module ゲートウェイ上の各ポートに対して、このオブジェクトの1つのインスタンスが作成されます。たとえば、完全に設定された Catalyst 6000 Analog Interface Module の場合は、このオブジェクトの24に分かれたインスタンスを表します。表 6-18 に、Cisco MGCP FXS Device カウンタの情報を示します。

表 6-18 Cisco MGCP FXS Device

カウンタ	カウンタの説明
CallsCompleted	MGCP FXS デバイス上のこのポートから発信され成功したコールの合計数を表します。
OutboundBusyAttempts	使用可能な音声チャンネルがない場合に、この MGCP FXS デバイス上のポートを介して試行されたコールの回数の合計数を表します。
PortStatus	MGCP FXS デバイスに関連付けられている FXS ポートの状態を表します。

Cisco MGCP Gateways

Cisco MGCP Gateways オブジェクトは、登録済み Cisco MGCP ゲートウェイについての情報を提供します。表 6-19 に、Cisco MGCP Gateways カウンタの情報を示します。

表 6-19 Cisco MGCP Gateways

カウンタ	カウンタの説明
BRISpansActive	ゲートウェイのコールで現在アクティブな BRI 音声チャンネルの数を表します。
BRISpansInService	ゲートウェイで現在使用可能な BRI スパンの数を表します。
FXOPortsActive	ゲートウェイのコールで現在アクティブな FXO ポートの数を表します。
FXOPortsInService	ゲートウェイで現在使用可能な FXO ポートの数を表します。
FXSPortsActive	ゲートウェイのコールで現在アクティブな FXS ポートの数を表します。
FXSPortsInService	ゲートウェイで現在使用可能な FXS ポートの数を表します。
PRISpansActive	ゲートウェイのコールで現在アクティブな PRI 音声チャンネルの数を表します。
PRISpansInService	ゲートウェイで現在使用可能な PRI スパンの数を表します。
T1ChannelsActive	ゲートウェイのコールで現在アクティブな T1 CAS 音声チャンネルの数を表します。
T1SpansInService	ゲートウェイで現在使用可能な T1 CAS スパンの数を表します。

Cisco MGCP PRI Device

Cisco MGCP Primary Rate Interface (PRI) Device オブジェクトは、登録済み Cisco MGCP PRI デバイスについての情報を提供します。表 6-20 に、Cisco MGCP PRI Device カウンタの情報を示します。

表 6-20 Cisco MGCP PRI Device

カウンタ	カウンタの説明
CallsActive	この MGCP PRI デバイス上で現在アクティブな(使用中の)コール数を表します。
CallsCompleted	MGCP PRI デバイスから発信され成功したコールの合計数を表します。
Channel 1 Status ~ Channel 15 Status (連続した番号)	MGCP PRI デバイスに関連付けられている、指定された B チャンネルの状態を表します。取りうる値は次のとおりです。0 (Unknown) は、チャンネルの状態を判別できなかったことを示します。1 (Out of service) は、このチャンネルが使用不可であることを示します。2 (Idle) は、このチャンネルにはアクティブなコールがなく、使用可能な状態であることを示します。3 (Busy) は、このチャンネルにアクティブコールが存在することを示します。4 (Reserved) は、このチャンネルが D チャンネルとして使用または E-1 用の Synch-Channel として使用するよう予約されていることを示します。

表 6-20 Cisco MGCP PRI Device (続き)

カウンタ	カウンタの説明
Channel 16 Status	MGCP PRI デバイスに関連付けられている、指定された B チャネルの状態を表します。取りうる値は次のとおりです。0 (Unknown)、1 (Out of service)、2 (Idle)、3 (Busy)、4 (Reserved)、E1 PRI インターフェイスの場合、このチャネルは、D チャネルとして使用するように予約されています。
Channel 17 Status ~ Channel 31 Status (連続した番号)	MGCP PRI デバイスに関連付けられている、指定された B チャネルの状態を表します。0 (Unknown)、1 (Out of service)、2 (Idle)、3 (Busy)、4 (Reserved)。
DatalinkInService	対応するデジタルアクセスゲートウェイ上の Data Link (D チャネル) の状態を表します。この値は、Data Link がアップ (動作中) の場合は 1 に設定されます。Data Link がダウン (停止中) の場合は 0 に設定されます。
OutboundBusyAttempts	使用可能な音声チャネルがない場合に、この MGCP PRI デバイスを介して試行されたコールの回数の合計数を表します。

Cisco MGCP T1 CAS Device

Cisco MGCP T1 Channel Associated Signaling (CAS) Device オブジェクトは、登録済み Cisco MGCP T1 CAS デバイスについての情報を提供します。表 6-21 に、Cisco MGCP T1 CAS Device カウンタの情報を示します。

表 6-21 Cisco MGCP T1 CAS Device

カウンタ	カウンタの説明
CallsActive	この MGCP T1 CAS デバイス上で現在アクティブな (使用中) コール数を表します。
CallsCompleted	この MGCP T1 CAS デバイスから発信され成功したコールの合計数を表します。
Channel 1 Status ~ Channel 24 Status (連続した番号)	MGCP T1 CAS デバイスに関連付けられている、指定された B チャネルの状態を表します。取りうる値は次のとおりです。0 (Unknown) は、チャネルの状態を判別できなかったことを示します。1 (Out of service) は、このチャネルが使用不可であることを示します。2 (Idle) は、このチャネルにはアクティブなコールがなく、使用可能な状態であることを示します。3 (Busy) は、このチャネルにアクティブコールが存在することを示します。4 (Reserved) は、このチャネルが D チャネルとして使用または E-1 用の Synch-Channel として使用するように予約されていることを示します。
OutboundBusyAttempts	使用可能な音声チャネルがない場合に MGCP T1 CAS デバイスを介して試行されたコールの回数の合計数を表します。

Cisco Music On Hold (MOH) Device

Cisco Music On Hold (MOH) Device オブジェクトは、登録済み Cisco MOH デバイスについての情報を提供します。表 6-22 に、Cisco MOH Device カウンタの情報を示します。

表 6-22 Cisco MOH Device

カウンタ	カウンタの説明
MOHHighestActiveResources	MOH サーバに対して同時にアクティブである MOH 接続の最大数を表します。マルチキャスト接続とユニキャスト接続の両方が含まれています。
MOHMulticastResourceActive	MOH サーバにより提供されるマルチキャストアドレスへの、現在アクティブなマルチキャスト接続の数を表します。 各 MOH マルチキャスト リソースは、オーディオソースとコーデックそれぞれの組み合わせに対して 1 つのストリームを使用します。たとえば、マルチキャスト、G.711 mu-law、ワイドバンドコーデックに対してデフォルトオーディオソースを設定した場合、2 つのストリーム（デフォルトオーディオソースと G.711 mu-law、およびデフォルトオーディオソースとワイドバンド）が使用されます。
MOHMulticastResourceAvailable	MOH サーバにより提供される、非アクティブで現在 MOH サーバで使用可能なマルチキャストアドレスへの、マルチキャスト MOH 接続の数を表します。 各 MOH マルチキャスト リソースは、オーディオソースとコーデックそれぞれの組み合わせに対して 1 つのストリームを使用します。たとえば、マルチキャスト、G.711 mu-law、ワイドバンドコーデックに対してデフォルトオーディオソースを設定した場合、2 つのストリーム（デフォルトオーディオソースと G.711 mu-law、およびデフォルトオーディオソースとワイドバンド）が使用されます。
MOHOutOfResources	Cisco CallManager に登録されているすべての MOH サーバ上で使用可能なすべてのリソースがすでにアクティブであった場合に、Media Resource Manager が MOH リソースの割り当てを試行した回数の合計数を表します。
MOHTotalMulticastResources	MOH サーバにより提供されるマルチキャストアドレスに対して許可されている、マルチキャスト MOH 接続の合計数を表します。 各 MOH マルチキャスト リソースは、オーディオソースとコーデックそれぞれの組み合わせに対して 1 つのストリームを使用します。たとえば、マルチキャスト、G.711 mu-law、ワイドバンドコーデックに対してデフォルトオーディオソースを設定した場合、2 つのストリーム（デフォルトオーディオソースと G.711 mu-law、およびデフォルトオーディオソースとワイドバンド）が使用されます。
MOHTotalUnicastResources	MOH サーバにより許可されているユニキャスト MOH 接続の合計数を表します。 各 MOH ユニキャスト リソースは、1 つのストリームを使用します。

表 6-22 Cisco MOH Device (続き)

カウンタ	カウンタの説明
MOHUnicastResourceActive	MOH サーバへのアクティブなユニキャスト MOH 接続の数を表します。 各 MOH ユニキャスト リソースは、1 つのストリームを使用します。
MOHUnicastResourceAvailable	非アクティブで、MOH サーバで現在まだ使用可能なユニキャスト MOH 接続の合計数を表します。 各 MOH ユニキャスト リソースは、1 つのストリームを使用します。

Cisco MTP Device

Cisco Media Termination Point (MTP) Device オブジェクトは、登録済み Cisco MTP デバイスについての情報を提供します。表 6-23 に、Cisco MTP Device カウンタの情報を示します。

表 6-23 Cisco MTP Device

カウンタ	カウンタの説明
OutOfResources	MTP デバイスから MTP リソースの割り当てを試行して、すべてのリソースがすでに使用中であるなどの理由で失敗した回数の合計数を表します。
ResourceActive	MTP デバイスに対して現在使用中の (アクティブな) MTP リソースの数を表します。 各 MTP リソースは、2 つのストリームを使用します。使用中の MTP は、コールで使用するために割り当てられている 1 つの MTP リソースを表します。
ResourceAvailable	非アクティブで、MTP デバイスに対して現在まだ使用可能な MTP リソースの合計数を表します。 各 MTP リソースは、2 つのストリームを使用します。使用中の MTP は、コールで使用するために割り当てられている 1 つの MTP リソースを表します。
ResourceTotal	MTP デバイスが提供する MTP リソースの合計数を表します。 ResourceAvailable カウンタと ResourceActive カウンタの合計数と等しい数です。

Cisco Phone

Cisco Phones オブジェクトは、ハードウェアベースのデバイスや、その他の端末デバイスの両方を含む、登録済み Cisco IP Phone の数についての情報を提供します。

CallsAttempted カウンタは、この電話機から試行されたコールの数を表します。この数は、電話機がオフフックおよびオンフックになるたびに増加します。

Cisco Presence Feature

Cisco Presence オブジェクトは、短縮ダイヤルやコールリスト ビジー ランプ フィールド (BLF; Busy Lamp Field) の加入に関連する統計など、表示加入についての情報を提供します。表 6-24 に、Cisco Presence Feature カウンタの情報を示します。

表 6-24 Cisco Presence

カウンタ	カウンタの説明
ActiveCallListAndTrunkSubscriptions	コールリスト機能のアクティブな表示加入と SIP トランクからの表示加入を表します。
ActiveSubscriptions	アクティブな着信と発信の表示加入のすべてを表します。
CallListAndTrunkSubscriptionsThrottled	コールリスト機能のスロットリングのために拒否されたコールリストとトランク側の表示加入の累計数を表します。
IncomingLineSideSubscriptions	回線側で受信された表示加入の累計数を表します。
IncomingTrunkSideSubscriptions	トランク側で受信された表示加入の累計数を表します。
OutgoingTrunkSideSubscriptions	トランク側で送信された表示加入の累計数を表します。

Cisco QSIG Feature

Cisco QSIG Feature オブジェクトは、自動転送およびパス変換などの、さまざまな QSIG 機能の操作についての情報を提供します。表 6-25 に、Cisco QSIG Feature カウンタの情報を示します。

表 6-25 Cisco QSIG

カウンタ	カウンタの説明
CallForwardByRerouteCompleted	再ルーティングにより成功した自動転送の数を表します。再ルーティングによる自動転送は、転送されるコールのパスを、発信元の観点から最適化します (使用中の B チャネルの数を最小化します)。このカウンタは、Cisco CallManager サービス パラメータ Call Forward by Reroute Enabled が有効または無効になった場合、または Cisco CallManager サービスが再起動された場合にリセットされます。
PathReplacementCompleted	発生したパス変換の成功した数を表します。QSIG ネットワークにおけるパス変換は、コールに含まれる 2 つのエッジ PINX (PBX) 間のパスを最適化します。このカウンタは、Cisco CallManager サービス パラメータ Path Replacement Enabled が有効または無効になった場合、または Cisco CallManager サービスが再起動された場合にリセットされます。

Cisco SIP

Cisco Session Initiation Protocol (SIP) オブジェクトは、設定済み SIP デバイスについての情報を提供します。表 6-26 に、Cisco SIP カウンタの情報を示します。

表 6-26 Cisco SIP

カウンタ	カウンタの説明
CallsActive	この SIP デバイス上で現在アクティブな（使用中の）コール数を表します。
CallsAttempted	SIP デバイス上で試行されたコール数を表します。成功したコールの試行と失敗したコールの試行の両方が含まれます。
CallsCompleted	SIP デバイスから実際に接続された（音声パスが確立された）コール数を表します。この数は、コールが終了したときに増加します。
CallsInProgress	SIP デバイス上で現在進行中の、すべてのアクティブ コールを含むコール数を表します。進行中のすべての音声コールが接続されたときに、CallsInProgress の数は CallsActive の数と等しくなります。
VideoCallsActive	この SIP デバイス上で現在アクティブな（使用中の）ストリーミングビデオ接続を持つビデオ コール数を表します。
VideoCallsCompleted	この SIP デバイスのビデオ ストリームに実際に接続され、その後解放されたビデオ コールの数を表しています。この数は、コールが終了したときに増分されます。

Cisco SIP Stack

Cisco SIP Stack オブジェクトは、Session Initiation Protocol (SIP) デバイス（SIP Proxy、SIP Redirect Server、SIP Registrar、SIP User Agent など）で生成される SIP スタック統計についての情報を提供します。表 6-27 に、Cisco SIP Stack カウンタの情報を示します。

表 6-27 Cisco SIP Stack

カウンタ	カウンタの説明
AckIns	SIP デバイスが受信した ACK 要求の合計数を表します。
AckOuts	SIP デバイスが送信した ACK 要求の合計数を表します。
ByeIns	SIP デバイスが受信した BYE 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
ByeOuts	SIP デバイスが送信した BYE 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
CancelIns	SIP デバイスが受信した CANCEL 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
CancelOuts	SIP デバイスが送信した CANCEL 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
GlobalFailedClassIns	SIP デバイスが受信した 6xx クラスの SIP 応答の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、クライアント機能を提供する SIP デバイスが失敗応答メッセージを受信したことを示します。一般に、こうした応答は、サーバが要求 URI の特定のインスタンスだけでなく、特定の着信側に関する明確な情報を保持していることを示します。

表 6-27 Cisco SIP Stack (続き)

カウンタ	カウンタの説明
GlobalFailedClassOuts	SIP デバイスが送信した 6xx クラスの SIP 応答の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、クライアント機能を提供する SIP デバイスが失敗応答メッセージを受信したことを示します。一般に、こうした応答は、サーバが要求 URI の特定のインスタンスだけでなく特定の着信側に関する明確な情報を保持していることを示します。
InfoClassIns	SIP デバイスが受信した 1xx クラスの SIP 応答の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、SIP 要求の進行についての情報を提供します。
InfoClassOuts	SIP デバイスが送信した 1xx クラスの SIP 応答の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、SIP 要求の処理の進行についての情報を提供します。
InfoIns	SIP デバイスが受信した INFO 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
InfoOuts	SIP デバイスが送信した INFO 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
InviteIns	SIP デバイスが受信した INVITE 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
InviteOuts	SIP デバイスが送信した INVITE 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
NotifyIns	SIP デバイスが受信した NOTIFY 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
NotifyOuts	SIP デバイスが送信した NOTIFY 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
OptionsIns	SIP デバイスが受信した OPTIONS 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
OptionsOuts	SIP デバイスが送信した OPTIONS 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
PRACKIns	SIP デバイスが受信した PRACK 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
PRACKOuts	SIP デバイスが送信した PRACK 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
RedirClassIns	SIP デバイスが受信した 3xx クラスの SIP 応答の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、コール先から到達可能なアドレスへのリダイレクションについての情報を提供します。
RedirClassOuts	SIP デバイスが送信した 3xx クラスの SIP 応答の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、コール先から到達可能なアドレスへのリダイレクションについての情報を提供します。
ReferIns	SIP デバイスが受信した REFER 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
ReferOuts	SIP デバイスが送信した REFER 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。

表 6-27 Cisco SIP Stack (続き)

カウンタ	カウンタの説明
RegisterIns	SIP デバイスが受信した REGISTER 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
RegisterOuts	SIP デバイスが送信した REGISTER 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
RequestsFailedClassIns	SIP デバイスが受信した 4xx クラスの SIP 応答の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、クライアント機能を提供する SIP デバイスによる要求失敗を示します。
RequestsFailedClassOuts	SIP デバイスが送信した 4xx クラスの SIP 応答の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、クライアント機能を提供する SIP デバイスによる要求失敗を示します。
RetryByes	SIP デバイスが送信した BYE の合計リトライ回数を表します。最初の BYE の試行回数を判別するには、sipStatsByeOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。
RetryCancels	SIP デバイスが送信した CANCEL の合計リトライ回数を表します。最初の CANCEL の試行回数を判別するには、sipStatsCancelOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。
RetryInfo	SIP デバイスが送信した INFO の合計リトライ回数を表します。最初の INFO の試行回数を判別するには、sipStatsInfoOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。
RetryInvites	SIP デバイスが送信した INVITE の合計リトライ回数を表します。最初の INVITE の試行回数を判別するには、sipStatsInviteOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。
RetryNotify	SIP デバイスが送信した NOTIFY の合計リトライ回数を表します。最初の NOTIFY の試行回数を判別するには、sipStatsNotifyOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。
RetryPRAck	SIP デバイスが送信した PRACK の合計リトライ回数を表します。最初の PRACK の試行回数を判別するには、sipStatsPRAckOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。
RetryRefer	SIP デバイスが送信した REFER の合計リトライ回数を表します。最初の REFER の試行回数を判別するには、sipStatsReferOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。
RetryRegisters	SIP デバイスが送信した REGISTER の合計リトライ回数を表します。最初の REGISTER の試行回数を判別するには、sipStatsRegisterOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。
RetryRel1xx	SIP デバイスが送信した Reliable 1xx の合計リトライ回数を表します。
RetryResponsesFinal	SIP デバイスが送信した Final Response の合計リトライ回数を表します。
RetryResponsesNonFinal	SIP デバイスが送信した非 Final Response の合計リトライ回数を表します。
RetrySubscribe	SIP デバイスが送信した SUBSCRIBE の合計リトライ回数を表します。最初の SUBSCRIBE の試行回数を判別するには、sipStatsSubscribeOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。
RetryUpdate	SIP デバイスが送信した UPDATE の合計リトライ回数を表します。最初の UPDATE の試行回数を判別するには、sipStatsUpdateOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。

表 6-27 Cisco SIP Stack (続き)

カウンタ	カウンタの説明
ServerFailedClassIns	SIP デバイスが受信した 5xx クラスの SIP 応答の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、クライアント機能を提供する SIP デバイスが失敗応答を受信したことを示します。
ServerFailedClassOuts	SIP デバイスが送信した 5xx クラスの SIP 応答の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、クライアント機能を提供する SIP デバイスが失敗応答を受信したことを示します。
StatusCode1xxIns	SIP デバイスが受信した 1xx 応答メッセージ (再送信を含む) の合計数を表します。このカウントには、次の 1xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • 100 試行中 • 180 呼び出し中 • 181 コール転送中 • 182 キューイング済み • 183 セッション中
StatusCode1xxOuts	SIP デバイスが送信した 1xx 応答メッセージ (再送信を含む) の合計数を表します。このカウントには、次の 1xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • 100 試行中 • 180 呼び出し中 • 181 コール転送中 • 182 キューイング済み • 183 セッション中
StatusCode2xxIns	SIP デバイスが受信した 2xx 応答メッセージ (再送信を含む) の合計数を表します。このカウントには、次の 2xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • 200 OK • 202 受理成功
StatusCode2xxOuts	SIP デバイスが送信した 2xx 応答メッセージ (再送信を含む) の合計数を表します。このカウントには、次の 2xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • 200 OK • 202 受理成功
StatusCode3xxins	SIP デバイスが受信した 3xx 応答メッセージ (再送信を含む) の合計数を表します。このカウントには、次の 3xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • 300 複数の選択肢 • 301 永続的に移動 • 302 一時的に移動 • 303 非互換の帯域幅ユニット • 305 プロキシの使用 • 380 代替サービス
StatusCode302Outs	SIP デバイスが送信した 302 (一時的な移動) 応答メッセージ (再送信を含む) の合計数を表します。

表 6-27 Cisco SIP Stack (続き)

カウンタ	カウンタの説明
StatusCode4xxIns	<p>SIP デバイスが受信した 4xx 応答メッセージ (再送信を含む) の合計数を表します。このカウントには、次の 4xx 応答が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 400 不正な要求 • 401 未認証 • 402 支払いが必要 • 403 禁止 • 404 見つからない • 405 メソッドが許可されない • 406 受理されない • 407 プロキシ認証が必要 • 408 要求タイムアウト • 409 競合 • 410 消失 • 413 要求エンティティが大きすぎる • 414 要求 URI が長すぎる • 415 サポートされないメディア タイプ • 416 サポートされない URI スキーマ • 417 不明なリソース優先順位 • 420 不正な拡張子 • 422 セッション有効期限の値が小さすぎる • 423 間隔が短すぎる • 480 一時的な使用不可 • 481 コール/トランザクションが存在しない • 482 ループが検出された • 483 ホップが多すぎる • 484 アドレスが不完全 • 485 あいまい • 486 ここは通話中 • 487 要求終了 • 488 ここでは受理されない • 489 不正な登録イベント • 491 要求保留中

表 6-27 Cisco SIP Stack (続き)

カウンタ	カウンタの説明
StatusCode4xxOuts	<p>SIP デバイスが送信した 4xx 応答メッセージ (再送信を含む) の合計数を表します。このカウントには、次の 4xx 応答が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 400 不正な要求 • 401 未認証 • 402 支払いが必要 • 403 禁止 • 404 見つからない • 405 メソッドが許可されない • 406 受理されない • 407 プロキシ認証が必要 • 408 要求タイムアウト • 409 競合 • 410 消失 • 413 要求エンティティが大きすぎる • 414 要求 URI が長すぎる • 415 サポートされないメディア タイプ • 416 サポートされない URI スキーマ • 417 不明なリソース優先順位 • 420 不正な拡張子 • 422 セッション有効期限の値が小さすぎる • 423 間隔が短すぎる • 480 一時的な使用不可 • 481 コール/トランザクションが存在しない • 482 ループが検出された • 483 ホップが多すぎる • 484 アドレスが不完全 • 485 あいまい • 486 ここは通話中 • 487 要求終了 • 488 ここでは受理されない • 489 不正な登録イベント • 491 要求保留中
StatusCode5xxIns	<p>SIP デバイスが受信した 5xx 応答メッセージ (再送信を含む) の合計数を表します。このカウントには、次の 5xx 応答が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 500 サーバの内部エラー • 501 実装されない • 502 不正なゲートウェイ • 503 サービス使用不可 • 504 サーバタイムアウト • 505 バージョンがサポートされない • 580 前提条件の失敗

表 6-27 Cisco SIP Stack (続き)

カウンタ	カウンタの説明
StatusCode5xxOuts	SIP デバイスが送信した 5xx 応答メッセージ (再送信を含む) の合計数を表します。このカウントには、次の 5xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> 500 サーバの内部エラー 501 実装されない 502 不正なゲートウェイ 503 サービス使用不可 504 サーバタイムアウト 505 バージョンがサポートされない 580 前提条件の失敗
StatusCode6xxIns	SIP デバイスが受信した 6xx 応答メッセージ (再送信を含む) の合計数を表します。このカウントには、次の 6xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> 600 すべて通話中 603 辞退 604 どこにも存在しない 606 受理されない
StatusCode6xxOuts	SIP デバイスが送信した 6xx 応答メッセージ (再送信を含む) の合計数を表します。このカウントには、次の 6xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> 600 すべて通話中 603 辞退 604 どこにも存在しない 606 受理されない
SubscribeIns	SIP デバイスが受信した SUBSCRIBE 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
SubscribeOuts	SIP デバイスが送信した SUBSCRIBE 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
SuccessClassIns	SIP デバイスが受信した 2xx クラスの SIP 応答の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、SIP 要求の正常な完了についての情報を提供します。
SuccessClassOuts	SIP デバイスが送信した 2xx クラスの SIP 応答の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、SIP 要求の正常な完了についての情報を提供します。
SummaryRequestsIn	SIP デバイスが受信した SIP 要求メッセージの合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
SummaryRequestsOut	SIP デバイスが送信した SIP 要求メッセージの合計数を表します。この数には、このデバイスから発信するメッセージと、このデバイスでリレーするメッセージが含まれます。特定のメッセージが複数回送信されると、各送信 (たとえば、再送信として、あるいはフォーキングの結果として再送されるメッセージ) は別々にカウントされます。
SummaryResponsesIn	SIP デバイスが受信した SIP 応答メッセージの合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
SummaryResponsesOut	SIP デバイスが送信 (発信およびリレー) した SIP 応答メッセージの合計数を表します。この数には再送信が含まれます。

表 6-27 Cisco SIP Stack (続き)

カウンタ	カウンタの説明
UpdateIns	SIP デバイスが受信した UPDATE 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。
UpdateOuts	SIP デバイスが送信した UPDATE 要求の合計数を表します。この数には再送信が含まれます。

Cisco SW Conf Bridge Device

Cisco SW Conference Bridge Device オブジェクトは、登録済み Cisco ソフトウェア Conference Bridge デバイスについての情報を提供します。表 6-28 に、Cisco Software Conference Bridge カウンタの情報を示します。

表 6-28 Cisco SW Conf Bridge Device

カウンタ	カウンタの説明
OutOfResources	SW 会議デバイスから会議リソースの割り当てを試行して、すべてのリソースがすでに使用中であったために失敗した回数の合計数を表します。
ResourceActive	SW 会議デバイスに対して現在使用中の (アクティブな) リソースの数を表します。1つのリソースは1つのストリームを表します。
ResourceAvailable	非アクティブで、SW 会議デバイスで現在まだ使用可能なリソースの合計数を表します。1つのリソースは1つのストリームを表します。
ResourceTotal	SW 会議デバイスが提供する会議リソースの合計数を表します。1つのリソースは 1 つのストリームを表します。このカウンタは、ResourceAvailable カウンタと ResourceActive カウンタの合計数と等しい数です。
SWConferenceActive	SW 会議デバイス上で現在アクティブな (使用中の) ソフトウェアベースの会議の数を表します。
SWConferenceCompleted	SW 会議デバイス上に割り当てられ、解放された会議の合計数を表します。会議は、最初のコールがブリッジに接続されたときに開始します。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除されたときに完了します。

Cisco TFTP Server

Cisco Trivial File Transfer Protocol (TFTP) Server オブジェクトは、Cisco TFTP サーバについての情報を提供します。表 6-29 に、Cisco TFTP Server カウンタの情報を示します。

表 6-29 Cisco TFTP Server

カウンタ	カウンタの説明
BuildAbortCount	Build all 要求を受信したときに、作成プロセスが中止された回数を表示します。このカウンタは、グループレベルの変更通知の結果として、デバイス/ユニット/ソフトキー/ダイヤルの規則の作成が中止されたときに増分されます。
BuildCount	TFTP サービスが開始されてからの、すべてのデバイスに影響するデータベース変更通知に対応して TFTP サーバがすべての設定ファイルを作成した回数を表示します。このカウンタは、すべての設定ファイルが新しく作成されるたびに1つずつ増加します。
BuildDeviceCount	すべての設定ファイルの最後の作成で処理されたデバイスの数を表示します。このカウンタは、デバイス変更通知の処理中にも更新されます。このカウンタは、新しいデバイスが追加されたときに増加し、既存のデバイスが削除されたときに減少します。
BuildDialruleCount	設定ファイルの最後の作成で処理されたダイヤル規則の数を表示します。このカウンタは、ダイヤル規則変更通知の処理中にも更新されます。このカウンタは、新しいダイヤル規則が追加されたときに増加し、既存のダイヤル規則が削除されたときに減少します。
BuildDuration	すべての設定ファイルの最後の作成に要した時間を秒単位で表示します。
BuildSignCount	セキュリティ対応の電話機デバイスの数を表示します。この電話機の設定ファイルは、全設定ファイルの最後の作成の Cisco CallManager サーバ鍵でデジタル署名されています。このカウンタは、セキュリティ対応の電話機デバイスの、変更通知の処理中にも更新されません。
BuildSoftKeyCount	設定ファイルの最後の作成で処理されたソフトキーの数を表示します。このカウンタは、新しいソフトキーが追加されたときに増加し、既存のソフトキーが削除されたときに減少します。
BuildUnitCount	すべての設定ファイルの最後の作成で処理されたゲートウェイの数を表示します。このカウンタは、ユニット変更通知の処理中にも更新されます。このカウンタは、新しいゲートウェイが追加されたときに増加し、既存のゲートウェイが削除されたときに減少します。
ChangeNotifications	TFTP サーバが受信したすべての Cisco CallManager データベース変更通知の合計数を表示します。Cisco CallManager Administration でデバイス設定が更新されるたびに、TFTP サーバはデータベース変更通知を送信し、更新されたデバイス用の XML ファイルを再作成します。
DeviceChangeNotifications	TFTP サーバがデータベース変更通知を受信して、デバイスの設定ファイルの作成、更新、削除を行った回数を表示します。
DialruleChangeNotifications	TFTP サーバがデータベース変更通知を受信して、ダイヤル規則の設定ファイルの作成、更新、削除を行った回数を表示します。
EncryptCount	暗号化された設定ファイルの数を表示します。このカウンタは、設定ファイルが正常に暗号化されるたびに更新されます。

表 6-29 Cisco TFTP Server (続き)

カウンタ	カウンタの説明
GKFoundCount	キャッシュ内で検出された GK ファイルの数を表します。このカウンタは、キャッシュ内で GK ファイルが検出されるたびに更新されます。
GKNotFoundCount	キャッシュ内で検出されなかった GK ファイルの数を表します。このカウンタは、GK ファイル取得要求に対してキャッシュ内で検出されないという結果が得られるたびに更新されます。
HeartBeat	TFTP サービスのハートビートを表します。この増分カウンタは、TFTP サーバが稼働中であることを示します。カウンタが増加しない場合は、TFTP サーバがダウンしていることを意味しています。
HttpConnectRequests	現在 HTTP GET ファイル要求を要求しているクライアントの数を表します。
HttpRequests	HTTP サーバが処理したファイル要求 (XML 設定ファイル、電話ファームウェア ファイル、オーディオファイルなどに対する要求) の合計数を表します。このカウンタは、HTTP サービス開始以降の RequestsProcessed、RequestsNotFound、RequestsOverflow、RequestsAborted、RequestsInProgress の各カウンタの合計数を表します。
HttpRequestsAborted	HTTP サーバが予期せず取り消した (中止した) HTTP 要求の合計数を表します。要求側デバイスが到達できない (たとえば、装置の電源が入っていない) 場合や、ネットワーク接続の問題によりファイル転送が中断された場合は、要求が中断される可能性があります。
HttpRequestsNotFound	要求されたファイルが検出されなかった場合の HTTP 要求の合計数を表します。HTTP サーバが要求ファイルを検出しない場合、メッセージが要求側デバイスに送信されます。
HttpRequestsOverflow	許容されるクライアント接続の最大数に達したときに、拒否された HTTP 要求の合計数を表します。TFTP サーバが設定ファイルを作成中に要求を受信したか、または他のリソースの制限による拒否の可能性もあります。Cisco TFTP 拡張サービス パラメータ Maximum Serving Count は、許容される接続の最大数を設定します。
HttpRequestsProcessed	HTTP サーバが正常に処理した HTTP 要求の合計数を表します。
HttpServedFromDisk	ディスク上に存在し、メモリ内にキャッシングされないファイルに関して HTTP サーバが完了した要求の数を表します。
LDFoundCount	キャッシュ内で検出された LD ファイルの数を表します。このカウンタは、キャッシュ メモリ内で LD ファイルが検出されるたびに更新されます。
LDNotFoundCount	キャッシュ メモリ内で検出されなかった LD ファイルの数を表します。このカウンタは、LD ファイル取得要求に対してキャッシュ内で検出されないという結果が得られるたびに更新されます。
MaxServingCount	TFTP で同時に処理できるクライアント接続の最大数を表します。Cisco TFTP 拡張サービス パラメータ Maximum Serving Count は、この値を設定します。

表 6-29 Cisco TFTP Server (続き)

カウンタ	カウンタの説明
Requests	TFTP サーバが処理したファイル要求 (XML 設定ファイル、電話ファームウェアファイル、オーディオファイルなどに対する要求) の合計数を表します。このカウンタは、TFTP サービス開始以降の RequestsProcessed、RequestsNotFound、RequestsOverflow、RequestsAborted、RequestsInProgress の各カウンタの合計数を表します。
RequestsAborted	TFTP サーバが予期せず取り消した (中止した) TFTP 要求の合計数を表します。要求側デバイスが到達できない (たとえば、装置の電源が入っていない) 場合や、ネットワーク接続の問題によりファイル転送が中断された場合は、要求が中断される可能性があります。
RequestsInProgress	TFTP サーバが現在処理しているファイル要求の数を表します。このカウンタは、新しいファイル要求のたびに増加し、ファイル要求が完了するたびに減少します。このカウンタは、TFTP サーバの現在の負荷を示します。
RequestsNotFound	要求されたファイルが検出されなかった場合の TFTP 要求の合計数を表します。TFTP サーバが要求ファイルを検出しない場合は、メッセージが要求側デバイスに送信されます。
RequestsOverflow	許容されるクライアント接続の最大数を超過したために拒否された TFTP 要求、TFTP サーバが設定ファイルを作成中に要求を受信したために拒否された TFTP 要求、または他のリソースの制限により拒否された TFTP 要求の合計数を表します。Cisco TFTP 拡張サービス パラメータ Maximum Serving Count は、許容される接続の最大数を設定します。
RequestsProcessed	TFTP サーバが正常に処理した TFTP 要求の合計数を表します。
SegmentsAcknowledged	クライアント デバイスが確認応答したデータ セグメントの合計数を表します。ファイルは、512 バイトのデータ セグメントで要求側デバイスに送信されます。512 バイトの各セグメントに対して、デバイスは TFTP サーバに確認応答メッセージを送信します。追加の各データ セグメントは、先行データ セグメントの確認応答の受信時に、ファイル全体が要求側デバイスに正常に転送されるまで送信されます。
SegmentsFromDisk	TFTP サーバがファイルを処理する間にディスク上のファイルから読み取ったデータ セグメントの数を表します。
SegmentSent	TFTP サーバが送信したデータ セグメントの合計数を表します。ファイルは、512 バイトのデータ セグメントで要求側デバイスに送信されます。
SEPFoundCount	キャッシュ内で正常に検出された SEP ファイルの数を表します。このカウンタは、キャッシュ内で SEP ファイルが検出されるたびに更新されます。
SEPNotFoundCount	キャッシュ内で検出されなかった SEP ファイルの数を表します。このカウンタは、SEP ファイル取得要求に対してキャッシュメモリ内で検出されないという結果が得られるたびに更新されます。
SIPFoundCount	キャッシュ内で正常に検出された SIP ファイルの数を表します。このカウンタは、キャッシュ内で SIP ファイルが検出されるたびに更新されます。

表 6-29 Cisco TFTP Server (続き)

カウンタ	カウンタの説明
SIPNotFoundCount	キャッシュ内で検出されなかった SIP ファイルの数を表します。このカウンタは、SIP ファイル取得要求に対してキャッシュメモリ内で検出されないという結果が得られるたびに更新されます。
SoftkeyChangeNotifications	TFTP サーバがデータベース変更通知を受信して、ソフトキーの設定ファイルの作成、更新、削除を行った回数を表します。
UnitChangeNotifications	TFTP サーバがデータベース変更通知を受信して、ゲートウェイ関連の設定ファイルの作成、更新、削除を行った回数を表します。

Cisco Tomcat Connector

Tomcat Hypertext Transport Protocol (HTTP) /HTTP Secure (HTTPS) Connector オブジェクトは、Tomcat コネクタについての情報を提供します。Tomcat HTTP コネクタは、要求を受信し、応答を送信するエンドポイントを表します。このコネクタは、Cisco CallManager 関連の Web ページにアクセスしたときに発生する HTTP/HTTPS 要求を処理し、HTTP/HTTPS 応答を送信します。Web アプリケーションの URL の Secure Socket Layer (SSL) 状態は、各 Tomcat HTTP コネクタのインスタンス名の基準を提供します。たとえば、SSL の場合は `https://<IP アドレス>:8443`、非 SSL の場合は `http://<IP アドレス>:8080` です。表 6-30 に、Tomcat HTTP Connector カウンタの情報を示します。

表 6-30 Cisco Tomcat Connector

カウンタ	カウンタの説明
Errors	コネクタで発生する HTTP エラー (たとえば、401 未認証) の合計数を表します。Tomcat HTTP コネクタは、要求を受信し、応答を送信するエンドポイントを表します。このコネクタは、Cisco CallManager 関連のウィンドウにアクセスしたときに発生する HTTP/HTTPS 要求を処理し、HTTP/HTTPS 応答を送信します。Web アプリケーションの URL の Secure Socket Layer (SSL) 状態は、各 Tomcat HTTP コネクタのインスタンス名の基準を提供します。たとえば、SSL の場合は <code>https://<IP アドレス>:8443</code> 、非 SSL の場合は <code>http://<IP アドレス>:8080</code> です。
MBytesReceived	コネクタが受信したデータの量を表します。Tomcat HTTP コネクタは、要求を受信し、応答を送信するエンドポイントを表します。このコネクタは、Cisco CallManager 関連のウィンドウにアクセスしたときに発生する HTTP/HTTPS 要求を処理し、HTTP/HTTPS 応答を送信します。Web アプリケーションの URL の Secure Socket Layer (SSL) 状態は、各 Tomcat HTTP コネクタのインスタンス名の基準を提供します。たとえば、SSL の場合は <code>https://<IP アドレス>:8443</code> 、非 SSL の場合は <code>http://<IP アドレス>:8080</code> です。
MBytesSent	コネクタが送信したデータの量を表します。Tomcat HTTP コネクタは、要求を受信し、応答を送信するエンドポイントを表します。このコネクタは、Cisco CallManager 関連のウィンドウにアクセスしたときに発生する HTTP/HTTPS 要求を処理し、HTTP/HTTPS 応答を送信します。Web アプリケーションの URL の Secure Socket Layer (SSL) 状態は、各 Tomcat HTTP コネクタのインスタンス名の基準を提供します。たとえば、SSL の場合は <code>https://<IP アドレス>:8443</code> 、非 SSL の場合は <code>http://<IP アドレス>:8080</code> です。

表 6-30 Cisco Tomcat Connector (続き)

カウンタ	カウンタの説明
Requests	コネクタによって処理された要求の合計数を表します。Tomcat コネクタは、要求を受信し、応答を送信するエンドポイントを表します。このコネクタは、Cisco CallManager 関連の Web ページにアクセスしたときに発生する HTTP/HTTPS 要求を処理し、HTTP/HTTPS 応答を送信します。各 Tomcat コネクタのインスタンス名は、Web アプリケーションの URL の Secure Socket Layer (SSL) を基準としています。たとえば、SSL の場合は https://<IP アドレス>:8443、非 SSL の場合は http://<IP アドレス>:8080 です。
Threads Total	使用可能なスレッドと使用中のスレッドを含むコネクタの要求処理スレッドの現在の合計数を表します。Tomcat HTTP コネクタは、要求を受信し、応答を送信するエンドポイントを表します。このコネクタは、Cisco CallManager 関連のウィンドウにアクセスしたときに発生する HTTP/HTTPS 要求を処理し、HTTP/HTTPS 応答を送信します。Web アプリケーションの URL の Secure Socket Layer (SSL) 状態は、各 Tomcat HTTP コネクタのインスタンス名の基準を提供します。たとえば、SSL の場合は https://<IP アドレス>:8443、非 SSL の場合は http://<IP アドレス>:8080 です。
Threads Max	<p>コネクタの要求処理スレッドの最大数を表します。Cisco CallManager 関連のウィンドウに着信する個々の要求は、その要求の持続期間にわたってスレッドを要求します。現在使用可能な要求処理スレッドで処理できるより多くの同時要求を受信した場合は、このカウンタで設定される最大数まで追加のスレッドが作成されます。さらに多くの同時要求を受信した場合は、内部的に指定された最大数までのスレッドが、コネクタが作成したサーバソケット内に累積されます。それを超える同時要求を受信すると、リソースが要求を処理できるようになるまで、接続はメッセージを拒否します。</p> <p>Tomcat HTTP コネクタは、要求を受信し、応答を送信するエンドポイントを表します。このコネクタは、Cisco CallManager 関連のウィンドウにアクセスしたときに発生する HTTP/HTTPS 要求を処理し、HTTP/HTTPS 応答を送信します。Web アプリケーションの URL の Secure Socket Layer (SSL) 状態は、各 Tomcat HTTP コネクタのインスタンス名の基準を提供します。たとえば、SSL の場合は https://<IP アドレス>:8443、非 SSL の場合は http://<IP アドレス>:8080 です。</p>

Cisco Tomcat JVM

Cisco Tomcat Java Virtual Machine (JVM) オブジェクトは、Tomcat JVM についての情報、特に、Cisco CallManager Administration、Cisco CallManager Serviceability など、Cisco CallManager 関連 Web アプリケーションで使用する共通メモリ リソースのプールについての情報を提供します。表 6-31 に、Tomcat JVM カウンタの情報を示します。

表 6-31 Tomcat JVM

カウンタ	カウンタの説明
KBytes Memory Free	Tomcat Java 仮想マシン内の動的空きメモリブロック（ヒープメモリ）の量を表します。動的メモリ ブロックには、Tomcat とその Web アプリケーション（Cisco CallManager Administration や Cisco CallManager Serviceability など）が作成するすべてのオブジェクトが保存されます。動的空きメモリが少ない場合は、自動的により多くのメモリが割り当てられ、メモリ全体のサイズ（KbytesMemoryTotal カウンタで表す）は増大しますが、最大値（KbytesMemoryMax カウンタで表す）を超えることはできません。KbytesMemoryTotal から KBytesMemoryFree を減算すると、使用中のメモリ量を判別できます。
KBytes Memory Max	Tomcat Java 仮想マシン内の動的空きメモリブロック（ヒープメモリ）の量を表します。動的メモリ ブロックには、Tomcat とその Web アプリケーション（Cisco CallManager Administration や Cisco CallManager Serviceability など）が作成するすべてのオブジェクトが保存されます。動的空きメモリが少ない場合は、自動的により多くのメモリが割り当てられ、メモリ全体のサイズ（KbytesMemoryTotal カウンタで表す）は増大しますが、最大値（KbytesMemoryMax カウンタで表す）を超えることはできません。KbytesMemoryTotal から KBytesMemoryFree を減算すると、使用中のメモリ量を判別できます。
KBytes Memory Total	Tomcat Java 仮想マシンの現在の動的メモリブロック全体（空きメモリと使用中のメモリを含む）のサイズを表します。

Cisco Tomcat Web Application

Cisco Tomcat Web Application オブジェクトは、Cisco CallManager の Web アプリケーションを実行する方法についての情報を提供します。Web アプリケーションの URL は、各 Tomcat Web アプリケーションのインスタンス名の基準を提供します。たとえば、Cisco CallManager Administration (<https://<IP アドレス>:8443/ccmadmin>) は ccmadmin によって識別され、Cisco CallManager Serviceability は ccmerviceability によって識別され、Cisco CallManager User Options は ccmuser によって識別され、拡張子のない URL (<https://<IP アドレス>:8443> や <http://<IP アドレス>:8080> など) は _root によって識別されます。表 6-32 に、Tomcat Web Application カウンタの情報を示します。

表 6-32 Tomcat Web Application

カウンタ	カウンタの説明
Errors	Cisco CallManager 関連の Web アプリケーションで発生する HTTP エラー（たとえば、401 未認証）の合計数を表します。Web アプリケーションの URL は、各 Tomcat Web アプリケーションのインスタンス名の基準を提供します。たとえば、Cisco CallManager Administration (<a href="https://<IP アドレス>:8443/ccmadmin">https://<IP アドレス>:8443/ccmadmin) は ccmadmin によって識別され、Cisco CallManager Serviceability は ccmerviceability によって識別され、Cisco CallManager User Options は ccmuser によって識別され、拡張子のない URL (<a href="https://<IP アドレス>:8443">https://<IP アドレス>:8443 や <a href="http://<IP アドレス>:8080">http://<IP アドレス>:8080 など) は _root によって識別されます。
Requests	Web アプリケーションで処理する要求の合計数を表します。Web アプリケーションにアクセスするたびに、Requests カウンタが増分されます。Web アプリケーションの URL は、各 Tomcat Web アプリケーションのインスタンス名の基準を提供します。たとえば、Cisco CallManager Administration (<a href="https://<IP アドレス>:8443/ccmadmin">https://<IP アドレス>:8443/ccmadmin) は ccmadmin によって識別され、Cisco CallManager Serviceability は ccmerviceability によって識別され、Cisco CallManager User Options は ccmuser によって識別され、拡張子のない URL (<a href="https://<IP アドレス>:8443">https://<IP アドレス>:8443 や <a href="http://<IP アドレス>:8080">http://<IP アドレス>:8080 など) は _root によって識別されます。
Sessions Active	Web アプリケーションが現在アクティブな（使用中の）セッション数を表します。Web アプリケーションの URL は、各 Tomcat Web アプリケーションのインスタンス名の基準を提供します。たとえば、Cisco CallManager Administration (<a href="https://<IP アドレス>:8443/ccmadmin">https://<IP アドレス>:8443/ccmadmin) は ccmadmin によって識別され、Cisco CallManager Serviceability は ccmerviceability によって識別され、Cisco CallManager User Options は ccmuser によって識別され、拡張子のない URL (<a href="https://<IP アドレス>:8443">https://<IP アドレス>:8443 や <a href="http://<IP アドレス>:8080">http://<IP アドレス>:8080 など) は _root によって識別されます。

Cisco Transcode Device

Cisco Transcode Device オブジェクトは、登録済み Cisco トランスコーディング デバイスについての情報を提供します。表 6-33 に、Cisco Transcoder Device カウンタの情報を示します。

表 6-33 Cisco Transcode Device

カウンタ	カウンタの説明
OutOfResources	トランスコーダ デバイスからトランスコーダ リソースの割り当てを試行して、すべてのリソースがすでに使用中であるなどの理由で失敗した回数の合計数を表します。
ResourceActive	トランスコーダ デバイスに対して現在使用中の（アクティブな）トランスコーダ リソースの数を表します。 各トランスコーダ リソースは、2つのストリームを使用します。
ResourceAvailable	非アクティブで、トランスコーダ デバイスで現在まだ使用可能なリソースの合計数を表します。 各トランスコーダ リソースは、2つのストリームを使用します。
ResourceTotal	トランスコーダ デバイスが提供したトランスコーダ リソースの合計数を表します。ResourceActive カウンタと ResourceAvailable のカウンタの合計数と等しい数です。

Cisco Video Conference Bridge

Cisco Video Conference Bridge オブジェクトは、登録済み Cisco Video Conference Bridge デバイスについての情報を提供します。表 6-34 に、Cisco Video Conference Bridge デバイス カウンタの情報を示します。

表 6-34 Cisco Video Conference Bridge

カウンタ	カウンタの説明
ConferenceActive	ビデオ Conference Bridge デバイス上で現在アクティブな（使用中の）会議の合計数を表します。システムにより、最初のコールがブリッジに接続されたときに会議がアクティブになるよう指定されています。
ConferenceAvailable	非アクティブで、テレビ会議デバイス上で現在まだ使用可能なテレビ会議の数を表します。
ConferenceCompleted	テレビ会議デバイス上に割り当てられ、解放された会議の合計数を表します。会議は、最初のコールがブリッジに接続されたときに開始します。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除されたときに完了します。
ConferenceTotal	テレビ会議デバイスに対して設定されているテレビ会議の合計数を表します。
OutOfConferences	テレビ会議デバイスからテレビ会議の開始を試行して、許可されているアクティブな会議の最大数（TotalConferences カウンタで指定）をデバイスがすでに使用しているために失敗した回数の合計数を表します。
OutOfResources	テレビ会議デバイスから会議リソースの割り当てを試行して、すべてのリソースがすでに使用中であるなどの理由で失敗した回数の合計数を表します。
ResourceActive	ビデオ Conference Bridge デバイス上で現在アクティブな（使用中の）リソースの合計数を表します。参加者 1 名につき、1 つのリソースが使用されます。
ResourceAvailable	非アクティブで、Conference Bridge デバイスへの追加の参加者を処理するデバイスで現在まだ使用可能なリソースの合計数を表します。
ResourceTotal	ビデオ Conference Bridge デバイス上に設定されているリソースの合計数を表します。参加者 1 名につき、1 つのリソースが使用されます。

Cisco WebDialer

Cisco WebDialer オブジェクトは、Cisco WebDialer アプリケーションと Redirector servlet についての情報を提供します。表 6-35 に、Cisco WebDialer カウンタの情報を示します。

表 6-35 Cisco WebDialer

カウンタ	カウンタの説明
CallsCompleted	Cisco WebDialer アプリケーションが正常に完了した Make Call 要求と End Call 要求の数を表します。
CallsFailed	失敗した Make Call 要求と End Call 要求の数を表します。
RedirectorSessionsHandled	最後にサービスが開始されてから Redirector servlet が処理した HTTP セッションの合計数を表します。
RedirectorSessionsInProgress	現在 Redirector servlet によりサービスが行われている HTTP セッションの数を表します。
RequestsCompleted	WebDialer servlet が正常に完了した Make Call 要求と End Call 要求の数を表します。
RequestsFailed	失敗した Make Call 要求と End Call 要求の数を表します。
SessionsHandled	最後にサービスが開始されてから Cisco WebDialer servlet が処理した CTI セッションの合計数を表します。
SessionsInProgress	Cisco WebDialer servlet が現在処理している CTI セッションの数を表します。

Cisco WSM Connector

WSM オブジェクトは、Cisco CallManager 上で設定される WSMConnectors についての情報を提供します。各 WSMConnector は、物理的な Motorola WSM デバイスを表します。表 6-36 に、Cisco WSM Connector カウンタの情報を示します。

表 6-36 Cisco WSM Connector

カウンタ	カウンタの説明
CallsActive	この WSMConnector デバイス上で現在アクティブな（使用中の）コール数を表します。
CallsAttempted	WSMConnector デバイス上で試行されたコール数を表します。成功したコールの試行と失敗したコールの試行の両方が含まれます。
CallsCompleted	WSMConnector デバイスから接続された（音声パスが確立された）コール数を表します。このカウンタは、コールが終了したときに増加します。
CallsInProgress	WSMConnector デバイス上で現在進行中のコール数を表します。この数にはすべてのアクティブ コールが含まれます。CallsInProgress の数が CallsActive の数と等しい場合は、進行中のすべての音声コールが接続されていることを示します。
DMMSRegistered	WSM に登録された DMMS 加入者の数を表します。

Database Change Notification Client

Database Change Notification Client オブジェクトは、変更通知クライアントについての情報を提供します。表 6-37 に、Database Change Notification Client カウンタの情報を示します。

表 6-37 Database Change Notification Client

カウンタ	カウンタの説明
MessagesProcessed	処理されたデータベース変更通知の数を表します。
MessagesProcessing	このクライアントに関する、現在処理中または変更通知キューで処理待ち中の変更通知メッセージの数を表します。
QueueHeadPointer	変更通知キューへのヘッドポインタを表します。ヘッドポインタは、変更通知キューの開始ポイントとして機能します。キュー内の通知の数を判別するには、ヘッドポインタの値からテールポインタの値を減算します。デフォルトでは、このカウンタは 15 秒ごとに更新されます。
QueueMax	このクライアントに関する処理予定の変更通知メッセージの最大数を表します。
QueueTailPointer	変更通知キューへのテールポインタを表します。テールポインタは、変更通知キューの終了ポイントを表します。キュー内の通知の数を判別するには、ヘッドポインタの値からテールポインタの値を減算します。デフォルトでは、このカウンタは 15 秒ごとに更新されます。
TablesSubscribed	このクライアントが登録したテーブルの数を表します。

Database Change Notification Server

Database Change Notification Server オブジェクトは、さまざまな変更通知関連の統計についての情報を提供します。表 6-38 に、Database Change Notification Server カウンタの情報を示します。

表 6-38 Database Change Notification Server

カウンタ	カウンタの説明
Clients	変更通知に関して登録された変更通知クライアント(サービス /servlet)の数を表します。
QueuedRequestsInDB	直接 TCP/IP 接続を介して DBCNQueue (Database Change Notification Queue; データベース変更通知キュー) テーブルに入る変更通知レコード(共有メモリ内にキューイングされないレコード)の数を表します。このカウンタは 15 秒ごとに更新されます。
QueuedRequestsInMemory	共有メモリ内の DBCNQueue (Database Change Notification Queue; データベース変更通知キュー) テーブルにキューイングされる変更通知要求(直接 TCP/IP 接続を介さない要求)の数を表します。

Database Change Notification Subscription

Database Change Notification Subscription オブジェクトは、クライアントが変更通知を受信するテーブルの名前を表示します。

SubscribedTable オブジェクトは、変更通知を受信するサービスまたは servlet が含まれているデータベーステーブルを表示します。このカウンタは増分されないため、この表示は情報のみの目的で行われます。

Database Layer Monitor

Database Layer オブジェクトは、Cisco Database Layer Monitor が Cisco CallManager データベースに関する情報を収集するときに、この情報を収集します。

Cisco Database Layer Monitor サービスは、デバイスリセットを行います。ResetsQueued カウンタは、現在リセットされているか、リセットキュー内にあるデバイスに関するレコードの数を表します。このカウンタには、管理者がデバイスの設定ウィンドウの Reset ボタンをクリックしたときに実行されるリセットのみが含まれます。

Database Local DSN

Database Local Data Source Name (DSN) オブジェクトと LocalDSN カウンタは、ローカルマシンの DSN 情報を提供します。表 6-39 に、Database Local DSN カウンタの情報を示します。

表 6-39 Database Local Data Source Name

カウンタ	カウンタの説明
CcmDbSpace_Used	使用されている CcmDbSpace の量を表します。
CcmtempDbSpace_Used	使用されている CcmtempDbSpace の量を表します。
LocalDSN	ローカルマシンから参照されている DSN を表します。
RootDbSpace_Used	使用されている RootDbSpace の量を表します。

DB User Host Information Counters

DB User Host Information オブジェクトは、DB User Host についての情報を提供します。

DB:User:Host Instance オブジェクトは、DB:User:Host の各インスタンスに関して存在する接続の数を表します。

Enterprise Replication DBSpace Monitors

Enterprise Replication DBSpace Monitors オブジェクトは、さまざまな ER DbSpaces の使用状況を表します。表 6-40 に、Enterprise Replication DBSpace Monitors カウンタの情報を示します。

表 6-40 Enterprise Replication DBSpace Monitors

カウンタ	カウンタの説明
ERDbSpace_Used	使用された CcmtempDbSpace の量を表します。
ERSBDbSpace_Used	使用された ERSBDbSpace の量を表します。

Enterprise Replication Perfmon Counters

Enterprise Replication Perfmon Counter オブジェクトは、さまざまなレプリケーションカウンタについての情報を提供します。

ServerName:ReplicationQueueDepth カウンタは、Q パラメータについての情報を表示します。

IP

IP オブジェクトは、システムの IP 統計についての情報を提供します。表 6-41 に、IP カウンタの情報を示します。

表 6-41 IP

カウンタ	カウンタの説明
Frag Creates	生成された IP データグラム フラグメントの数を表します。
Frag Fails	データグラムを断片化できなかったために（たとえば Do not Fragment フラグが設定されたデータグラムの場合）このエンティティで破棄された IP データグラムの数を表します。
Frag OKs	このエンティティで正常に断片化された IP データグラムの数を表します。
In Delivers	IP ユーザ プロトコル（ICMP を含む）に配信された入力データグラムの数を表します。
In Discards	破棄されたエラーのない入力データグラムの数を表します。このカウンタには、再構成を待機する間に破棄されたデータグラムの数は含まれません。
In HdrErrors	破棄されたヘッダー エラーを伴う入力データグラムの数を表します。これには、IP オプションを処理する間に検出された不適切なチェックサム、バージョン番号の不一致、その他のフォーマットエラー、存続可能時間の超過、その他のエラーが含まれます。
In Receives	受信した入力データグラムの数を表します。このカウンタには、エラーを伴う受信データグラムも含まれます。
In UnknownProtos	正常に受信したが、プロトコルが不明またはサポートされないために破棄されたローカル アドレス指定のデータグラムの数を表します。
InOut Requests	受信した着信 IP データグラムと要求された発信 IP データグラムの数を表します。
Out Discards	送信されずに破棄された出力 IP データグラムの数を表します。1 つの原因としてバッファ領域の不足が考えられます。
Out Requests	ローカル IP ユーザ プロトコル（ICMP を含む）から IP 要求送信に要求された IP データグラムの数を表します。
Reasm Fails	IP 再構成アルゴリズムが検出した IP 再構成の失敗回数を表します。
Reasm OKs	正常に再構成された IP データグラムの数を表します。
Reasm Reqds	再構成が必要な IP フラグメントの受信数を表します。

Memory

Memory オブジェクトは、サーバ上の物理メモリとスワップメモリの使用状況についての情報を提供します。表 6-42 に、Memory カウンタの情報を示します。

表 6-42 Memory

カウンタ	カウンタの説明
% Mem Used	物理メモリの使用率をパーセンテージで表します。
% Page Usage	アクティブなページのパーセンテージを表します。
% VM Used	仮想メモリの使用率をパーセンテージで表します。
Buffered KBytes	システム内のバッファの容量をキロバイトで表します。
Cached KBytes	キャッシングされたメモリの量をキロバイトで表します。
Free KBytes	システム内の空きメモリ全体の量をキロバイトで表します。
Free Swap KBytes	システム内の空きスワップ領域の量をキロバイトで表します。
Pages	システムがディスクからページインしたページの数とシステムがディスクにページアウトしたページの数を加算した数を表示します。
Pages Input	システムがディスクからページインしたページの数を表示します。
Pages Output	システムがディスクにページアウトしたページの数を表示します。
Shared KBytes	システム内の共有メモリの量をキロバイトで表します。
Total KBytes	システム内のメモリ全体の量をキロバイトで表します。
Total Swap KBytes	システム内のスワップ領域全体の量をキロバイトで表します。
Used KBytes	システム上で使用されているメモリの量をキロバイトで表します。
Used Swap KBytes	システム上で使用されているスワップ領域の量をキロバイトで表します。

Network Interface

Network Interface オブジェクトは、システム内のネットワーク インターフェイスについての情報を提供します。表 6-43 に、Network Interface カウンタの情報を示します。

表 6-43 Network Interface

カウンタ	カウンタの説明
Rx Bytes	フレーミング文字を含めて、インターフェイスで受信したバイト数を表します。
Rx Dropped	エラーが検出されなかったにもかかわらず破棄するように選択されたインバウンドパケットの数を表します。この操作により、パケットが上位レイヤのプロトコルに配信されるのが回避されます。パケットを破棄することでバッファ領域を解放するのが1つの目的です。
Rx Errors	エラーがあったために上位レイヤのプロトコルに配信されなかったインバウンドパケット（パケット指向のインターフェイス）の数とインバウンド送信ユニット（文字指向または固定長のインターフェイス）の数を表します。
Rx Multicast	このインターフェイスで受信したマルチキャストパケットの数を表します。
Rx Packets	このサブレイヤから上位のレイヤに配信したパケットの数を表します。このサブレイヤでマルチキャストまたはブロードキャストアドレスに指定されたパケットは含まれません。
Total Bytes	Rx バイトと Tx バイトの合計数を表します。
Total Packets	Rx パケットと Tx パケットの合計数を表します。
Tx Bytes	インターフェイスから送信されたオブジェクト（フレーミング文字を含む）のオクテットの合計数を表します。
Tx Dropped	エラーが検出されなかったにもかかわらず破棄するように選択されたアウトバウンドパケットの数を表します。この操作により、パケットが上位レイヤのプロトコルに配信されるのが回避されます。パケットを破棄することでバッファ領域を解放するのが1つの目的です。
Tx Errors	エラーがあったために送信できなかったアウトバウンドパケット（パケット指向のインターフェイス）の数とアウトバウンド送信ユニット（文字指向または固定長のインターフェイス）の数を表します。
Tx Packets	破棄されたパケットや送信されなかったパケットを含め、上位プロトコルから送信を要求されたパケットの合計数を表します。このサブレイヤでマルチキャストまたはブロードキャストアドレスに指定されたパケットは含まれません。
Tx QueueLen	出力パケットキューの長さを（パケット数で）表します。

Number of Replicates Created and State of Replication

Number of Replicates Created and State of Replication オブジェクトは、システム上のレプリケーション状態についての情報を提供します。表 6-44 に、レプリケーションカウンタの情報を示します。

表 6-44 Number of Replicates Created and State of Replication

カウンタ	カウンタの説明
Number of Replicates Created	作成されたレプリケーションの数を表します。
Replicate_State	レプリケーションの状態を表します。取り得る値は、0 (Not Started)、1 (Started)、2 (Finished)、3 (Broken) です。

Partition

Partition オブジェクトは、システム内のファイルシステムとその使用状況についての情報を提供します。表 6-45 に、Partition カウンタの情報を示します。

表 6-45 Partition

カウンタ	カウンタの説明
% CPU Time	ディスクに対して発行された IO 要求の処理に割り当てられた CPU 時間のパーセンテージを表します。
% Used	このファイルシステム上で使用されているディスク領域のパーセンテージを表します。
% Wait in Read	ディスクからの読み取りを待機するのに使用された CPU 時間のパーセンテージを表します。
% Wait in Write	ディスクへの書き込みを待機するのに使用された CPU 時間のパーセンテージを表します。
Queue Length	ディスクに対して発行された要求のキューの平均長を表します。
Read Bytes Per Sec	ディスクから読み取られたデータの量をキロバイト / 秒で表します。
Total Mbytes	このファイルシステム上のディスク領域全体の量をメガバイトで表します。
Used Mbytes	このファイルシステム上で使用されているディスク領域の量をメガバイトで表します。
Write Bytes Per Sec	ディスクに書き込まれたデータの量をキロバイト / 秒で表します。

Process

Process オブジェクトは、システム上で実行されているプロセスについての情報を提供します。表 6-46 に、Process カウンタの情報を示します。

表 6-46 Process

カウンタ	カウンタの説明
% CPU Time	最終更新以降の CPU 経過時間に対するタスクの占有率を合計 CPU 時間のパーセンテージで表します。
% MemoryUsage	現在タスクで使用している物理メモリのパーセンテージを表します。
Data Stack Size	タスク メモリ状態のスタック サイズを表します。
Nice	タスクの nice 値を表します。負の nice 値はプロセスの優先順位が高いことを表し、正の nice 値はプロセスの優先順位が低いことを表します。nice 値がゼロの場合は、タスクの割り当てを決定するときに優先順位を調整しません。
Page Fault Count	タスクで発生し、データをメモリにロードする必要がある主なページフォルトの数を表します。
PID	タスクに固有のプロセス ID を表します。この ID は、定期的にラッピングされますが、値はゼロになりません。
Process Status	次に示すプロセスの状態を表します。 <ul style="list-style-type: none"> • 0 (Running : 実行) • 1 (Sleeping : スリープ) • 2 (Uninterruptible disk sleep : 割り込み不能ディスク スリープ) • 3 (Zombie : ゾンビ) • 4 (Traced : トレース) • 5 (Paging : ページング) • 6 (Unknown : 不明)
Shared Memory Size	タスクで使用されている共有メモリの量 (KB) を表します。他のプロセスが同じメモリを共有する場合があります。
STime	このプロセスがカーネル モードでスケジューリングされた jiffy 数を表します。jiffy は、CPU 時間の単位に対応し、測定単位として使用されます。
Thread Count	現在タスクに関してグループ化されているスレッドの数を表します。
Total CPU Time Used	タスクの開始以降にユーザ モードとカーネル モードで使用するタスクの合計 CPU 時間を jiffy 数で表します。
UTime	このプロセスがユーザ モードでスケジューリングされた jiffy 数を表します。
Virtual Image	タスクで使用している仮想メモリ全体の量 (KB) を表します。コード、データ、共有ライブラリ、スワップアウトされたページがすべて含まれます。つまり、VirtualImage = SwappedSize + ResidentSize です。
VmData	タスクによるヒープの仮想メモリ使用状況をキロバイト (KB) で表します。
VmRSS	現在物理メモリ内にある常駐セットをキロバイト (KB) で表します。コード、データ、スタックが含まれます。
VmSize	タスク全体による仮想メモリ全体の使用状況をキロバイト (KB) で表します。

Processor

Processor オブジェクトは、さまざまなプロセッサ時間の使用状況についての情報をパーセンテージで提供します。表 6-47 に、Processor カウンタの情報を示します。

表 6-47 Processor

カウンタ	カウンタの説明
% CPU Time	最終更新以降の CPU 経過時間に対するプロセッサの占有率を表します。この占有率は、合計 CPU 時間のパーセンテージで表されます。
Idle Percentage	プロセッサがアイドル状態の時間のパーセンテージを表します。
IOWait Percentage	プロセッサが読み取りと書き込みの操作に使用した時間のパーセンテージを表します。
Irq Percentage	プロセッサがコンピュータへの信号の送信に使用した時間を含め、デバイスに割り当てられた割り込み要求を実行するためにプロセッサが使用した時間のパーセンテージを表します。
Nice Percentage	プロセッサがユーザ モードで nice プロセスを実行している時間のパーセンテージを表します。
Softirq Percentage	プロセッサがより高い CPU パフォーマンスを得るためにソフト IRQ とタスク切り替えの延期の実行に使用した時間のパーセンテージを表します。
System Percentage	プロセッサがカーネル モードでプロセスを実行している時間のパーセンテージを表します。
User Percentage	プロセッサがユーザ モードで normal プロセスを実行している時間のパーセンテージを表します。

System

System オブジェクトは、システムのファイル記述子についての情報を提供します。表 6-48 に、System カウンタの情報を示します。

表 6-48 System

カウンタ	カウンタの説明
Allocated FDs	割り当てられたファイル記述子の合計数を表します。
Being Used FDs	システムで現在使用中のファイル記述子の数を表します。
Freed FDs	解放されたシステム上で割り当てられたファイル記述子の合計数を表します。
Max FDs	システム上で許可されたファイル記述子の最大数を表します。
Total CPU Time	システムが起動し、動作している合計時間を jiffy で表します。
Total Processes	システム上のプロセスの合計数を表します。
Total Threads	システム上のスレッドの合計数を表します。

TCP

TCP オブジェクトは、システムの TCP 統計についての情報を提供します。表 6-49 に、TCP カウンタの情報を示します。

表 6-49 TCP

カウンタ	カウンタの説明
Active Opens	TCP 接続が CLOSED 状態から SYN-SENT 状態に直接遷移した回数を表します。
Attempt Fails	TCP 接続が LISTEN 状態から SYN-RCVD 状態に直接遷移した回数を表します。
Curr Estab	現在の状態が ESTABLISHED または CLOSE-WAIT のいずれかである TCP 接続の数を表します。
Estab Resets	TCP 接続が ESTABLISHED 状態または CLOSE-WAIT 状態のいずれから CLOSED 状態に直接遷移した回数を表します。
In Segs	エラーによる受信を含めて、受信したセグメントの合計数を表します。この数には、現在接続されている接続で受信したセグメントのみが含まれます。
InOut Segs	In Segs と Out Segs の合計数を表します。
Out Segs	エラーによる送信を含めて、送信したセグメントの合計数を表します。この数には、現在接続されている接続で送信したセグメントのみが含まれます。
Passive Opens	TCP 接続が LISTEN 状態から SYN-RCVD 状態に直接遷移した回数を表します。
RetransSegs	以前に送信されたオクテットが 1 つまたは複数含まれていたために再送信されたセグメントの合計数を表します。

Thread

Thread オブジェクトは、システム上で実行されているスレッドのリストを提供します。表 6-50 に、Thread カウンタの情報を示します。

表 6-50 Thread

カウンタ	カウンタの説明
% CPU Time	最終更新以降の CPU 経過時間に対するスレッドの占有率を表します。この占有率は、合計 CPU 時間のパーセンテージで表されます。
PID	スレッドリーダー プロセス ID を表します。

RTMT を使用したパフォーマンス モニタリング

RTMT には、クラスタ内のすべての Cisco CallManager コンポーネントのパフォーマンス情報が表示されます。このツールは、Cisco CallManager Administration および Serviceability ソフトウェアに統合されています。RTMT は、アラート通知を提供することでトラブルシューティング パフォーマンスを向上させます。また、パフォーマンス カウンタ値を定期的にポーリングすることによって、Cisco CallManager のパフォーマンスのさまざまな面をモニタします。perfmom カウンタを図や表の形式で表示する例については、『CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド』の「カウンタの説明の表示」を参照してください。

Perfmom モニタリングを使用すると、次のタスクを実行できます。

- Cisco CallManager クラスタから、Cisco CallManager ノード、TFTP サーバ、データベースサーバなどのパフォーマンス カウンタをモニタします。
- あらかじめ設定されているオブジェクトのセットを継続的にモニタして、電子メールの形式で通知を受信します。
- カウンタしきい値設定をアラート通知に関連付けます。電子メールまたはポップアップ メッセージで管理者に通知します。
- カスタマイズされたトラブルシューティング タスクのために、モニタ対象のカウンタ、しきい値設定、アラート通知などの設定を保存および復元します。
- パフォーマンス比較のために、1つの図に6つまでの perfmom カウンタを表示します。

RTMT では、パフォーマンス カウンタを図や表の形式で表示します。図は、ミニチュアの情報ウィンドウに表示されます。作成したカテゴリ タブごとに、6つまでの図が、RTMT の Perfmom Monitoring ペインに表示されます。Perfmom Monitoring ペインのカウンタをダブルクリックすると、特定のカウンタを表示できます。デフォルトでの表示は図形式なので、表示を表形式に変更するには、カテゴリを作成するときにパフォーマンス カウンタを表形式の表示用に設定します。

メニューバーの Perfmom メニューにある Remove Chart/TableEntry メニュー項目で、カウンタの図(表エントリ)を削除できます。



ヒント

あらかじめ用意されている各モニタリング ウィンドウのポーリング レートは固定されていて、デフォルト値には 30 秒が指定されています。Cisco CallManager Administration のサービス パラメータの AMC (Alert Manager and Collector) の収集レートが変更された場合は、あらかじめ用意されているウィンドウのポーリング レートも更新されます。また、各図のタイム スタンプは、バックエンドサーバの時間ではなく RTMT クライアントアプリケーションの現地時間に基づいています。

RTMT の Perfmom Monitoring ペインの設定オプションについては、次に示す項を参照してください。

- カテゴリ タブ (P.6-61)
- サンプル レート (P.6-61)
- モニタするカウンタの追加 (P.6-61)
- カウンタのアラート通知 (P.6-61)

カテゴリ タブ

カテゴリは、モニタされるパフォーマンス カウンタで構成されます。RTMT モニタリング ペインのタブに、カテゴリ名が表示されます。このタブでモニタされるパフォーマンス カウンタのすべてが、1つのカテゴリに属しています。システムは、タブ内のパフォーマンス カウンタを同じレートでポーリングしますが、ポーリング レートはカテゴリごとに設定されます。

RTMT モニタリング ペインにカスタム カテゴリを作成して、特定のパフォーマンスやデバイスの問題のトラブルシューティングに役立つ情報を表示できます。Cisco CallManager システムで、特定のオブジェクトにパフォーマンスの問題がある場合は、そのオブジェクト内のカウンタのパフォーマンスをモニタするカスタム カテゴリを作成します。特定のデバイスに問題がある場合は、クラスタ内のデバイスをモニタするカスタム カテゴリを作成します。また、これらのカスタム カテゴリのカウンタおよびゲートウェイに対するアラート通知を作成できます。

カスタム カテゴリを作成するには、新しいカテゴリ タブを追加します。タブが作成されたら、そのタブ内の特定のパフォーマンス カウンタ、デバイス、およびアラートを指定して、Profile を使用してカスタム カテゴリを保存します。

サンプル レート

Cisco CallManager ソフトウェアは、カウンタ、デバイス、およびゲートウェイ ポートにポーリングして、状況の情報を収集します。RTMT モニタリング ペインで、作成した各カテゴリ タブについて、パフォーマンス カウンタ、デバイス、およびゲートウェイ ポートのポーリング間隔を設定します。



(注)

ポーリング レートの頻度が高いと、Cisco CallManager のパフォーマンスに影響します。図形式の表示でパフォーマンス カウンタをモニタリングするための最低ポーリング レートは 5 秒です。表形式の表示でパフォーマンス カウンタをモニタリングするための最低レートは 1 秒です。デフォルトは、いずれも 10 秒に設定されています。

モニタするカウンタの追加

システム パフォーマンスの問題に関するトラブルシューティングを行うには、perfmon オブジェクトに関連するカウンタを、そのカウンタの図が表示される RTMT の Perfmon Monitoring ペインに追加します。カウンタを追加する前に、P.6-61 の「カテゴリ タブ」を参照してください。

カテゴリ タブには、perfmon カウンタの図を 6 つまで表示できます。

カウンタのアラート通知

アラート通知機能を使用すると、Cisco CallManager からシステムの問題が通知されます。システムカウンタのアラート通知をアクティブにするには、次の設定を行います。

- RTMT の Perfmon Monitoring ペインから、システム perfmon カウンタを選択します。
- アラート通知のための電子メールまたはメッセージ ポップアップ ウィンドウをセットアップします。
- アラートのしきい値を決定します（たとえば、進行中のコールが 100 コールのしきい値を上回る場合、または 50 コールのしきい値を下回る場合に、アラートがアクティブになります）。
- アラート通知の頻度を決定します（たとえば、アラートは一度だけまたは 1 時間ごとに発生します）。
- アラートがアクティブになるスケジュールを決定します（たとえば、1 日に一度または特定の時間帯）。

カウンタの詳細表示

パフォーマンス モニタを拡大表示するには、RTMT の Perfmon Monitoring ペインのモニタ カウンタを詳細表示します。詳細表示するには、カウンタの図を強調表示し、Perfmon メニューの Zoom Chart を選択します。

カウンタのプロパティ

カウンタのプロパティには、カウンタの説明を表示する機能とデータ サンプリング パラメータを設定する機能があります。

Counter Property ウィンドウには、カウンタのサンプル データを設定するためのオプションがあります。RTMT の Perfmon Monitoring ペインに表示されるパフォーマンス カウンタには、緑のドットがあり、サンプル データがある期間存在していることを示します。収集するサンプル データの数と、図に表示されるデータ ポイント数を設定できます。サンプル データを設定した後、View All Data メニュー オプションまたは View Current Data メニュー オプションを使用して情報を表示し、perfmon カウンタが収集したすべてのデータを表示します。

Perfmon ログの概要

システムは、RTMT から LogPerfMon API がコールされるたびに、Perfmon データを記録します。ファイルログは Windows Performance ツールの csv 形式と互換性があり、Performance ツールで開いて分析できます。

新しいカウンタを追加すると、RTMT は新しいカウンタに対応してヘッダーを変更し、それに応じて値を記録します。既存のカウンタ（すでにヘッダーに追加されている）のデータが利用できないときには、RTMT はファイルにブランクの値を挿入します。追加された新しいカウンタの文字長が 2000 を超える場合、すべてのカウンタを含む新しいファイルが生成されます。

PerfMon ログのファイル名の形式は、PerfMonLog_<ノード名>_MM_DD_YYYY_hh_mm.csv です。

次のリストに、RTMT が記録する perfmon カウンタを示します。

システム レベルの場合

- Cisco CallManager System Performance\QueueSignalsPresent 1-High
- Cisco CallManager System Performance\QueueSignalsPresent 2-Normal
- Cisco CallManager System Performance\QueueSignalsPresent 3-Low
- Cisco CallManager System Performance\QueueSignalsPresent 4-Lowest
- Cisco CallManager System Performance\QueueSignalsProcessed 1-High
- Cisco CallManager System Performance\QueueSignalsProcessed 2-Normal
- Cisco CallManager System Performance\QueueSignalsProcessed 3-Low
- Cisco CallManager System Performance\QueueSignalsProcessed 4-Lowest

システム上で実行している各プロセスの場合

- Process\% Processor Time
- Process\ID Process
- Process\Private Bytes
- Process\Virtual Bytes

参考資料

Cisco CallManager *トラブルシューティングガイド*

参考情報

関連項目

- [Real-Time Monitoring Tool \(P.5-1\)](#)
- 『*Cisco CallManager Serviceability* アドミニストレーションガイド』の「Real-Time Monitoring の設定」
- 『*Cisco CallManager Serviceability* アドミニストレーションガイド』の「RTMT のトレース収集とログ集中管理」

